VP-1850

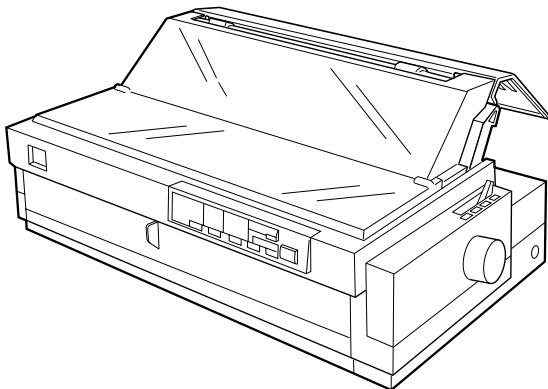
取扱説明書

セットアップと使い方の概要編

- プリンタを使用可能な状態にするための準備作業と基本操作を説明しています。
- 本書は製品の近くに置いてご活用ください。

411855400

Printed in XXXXX

ENERGY STAR

マークの意味

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

!注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参考　補足説明や参考情報を記載しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® Operating System Version 3.1 日本語版
Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 3.51 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
Microsoft® Windows 7™ Operating System 日本語版
本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 3.1、Windows 95, Windows 98、Windows Me、Windows NT3.51、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7 と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 2000/XP/Vista/7」のように Windows の表記を省略することがあります。

給紙方法の呼称

本書で説明する給紙方法と操作パネルおよびプリンタドライバ上の表記は以下のようになります。

給紙方法	操作パネルの表記	プリンタドライバの表記
単票紙を 用紙ガイドから 手差し給紙する	単票 /CSF1 または 単票 /CSF2	手差し (単票)
単票紙を カットシートフィーダ1 から給紙する	単票 /CSF1	カットシートフィーダ ファーストビン (CSF1)
単票紙を カットシートフィーダ2 から給紙する	単票 /CSF2	カットシートフィーダ セカンドビン (CSF2)
連続紙を リア / フロントプッシュトラクタ、プルトラクタ から給紙する	連続紙	プッシュ / プルトラクタ (連続紙リア/フロント)

- 操作パネルの表記“CSF”は、カットシートフィーダ（Cut Sheet Feeder）の略称です。
- プリンタドライバの表記“カットシートフィーダ”は本製品に標準添付されているプリンタドライバ上の表記です。ほかのソフトウェアでは、類似の表記をしていることがあります。
- ()表記は､EPSON プリンタウィンドウ !2/EPSON ステータスモニタ 3 の表記です。

商標

- EPSON ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- PC-9800 シリーズ、PC-9821 シリーズ、PC-98 NX シリーズ、PC-H98 は日本電気株式会社の商標です。
- IBM PC、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Apple の名称、Macintosh、Power Macintosh、iMac、PowerBook、AppleTalk、LocalTalk、EtherTalk、漢字Talk、TrueType、ColorSync は Apple Inc. の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Vista、Windows 7 は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

もくじ

ご使用の前に

本製品を安全にお使いいただくための情報と、本製品の部品名称一覧を記載しています。

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品の取扱説明書をお読みください。

本製品の取扱説明書の内容に反した取り扱いは、故障や事故の原因になります。本製品の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

本製品の取扱説明書では、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

してはいけない行為（禁止行為）を示しています。	電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
分解禁止を示しています。	濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
製品が水に濡れることの禁止を示しています。	必ず守っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
特定の場所に触れることの禁止を示しています。	

設置に関するご注意

⚠警告
本製品の通風口をふさがないでください。 通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。 布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。

⚠注意	
油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**不安定な場所、ほかの機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。** 落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。
本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。 無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。	**本製品の組み立て作業（開梱、付属品の取り付けなど）は、梱包箱、梱包材、同梱品を作業場所の外に片付けてから行ってください。** 滑ったり、つまずいたりして、けがをするおそれがあります。

本製品は次のような場所に設置してください。

- 水平で安定した場所
- 風通しの良い場所
- 気温（5 ～ 35 ℃）と湿度（10 ～ 80%）の場所

本製品は精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

- 直射日光の当たる場所
- ホコリや塵の多い場所
- 温度変化や湿度変化の激しい場所
- 火気のある場所
- 水に濡れやすい場所
- 揮発性物質のある場所
- 冷暖房機具に近い場所
- 震動のある場所
- 加湿器に近い場所
- テレビ・ラジオに近い場所

!注意 静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

- 本製品を「プリンタ底面より小さい台」の上に設置しないでください。プリンタ底面のゴム製の脚が台からはみ出ていると、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。必ずプリンタ本体より広く平らな面の上にプリンタを設置してください。
- 本製品をプリンタ台に設定する場合は、本体重量（約 13kg）に耐えられるプリンタ台に設定してください。
- 用紙やリボンカートリッジの交換などが簡単にできるようにスペースを確保してください。
- 本製品の外形寸法は次の通りです（小数点以下四捨五入）。

上面図

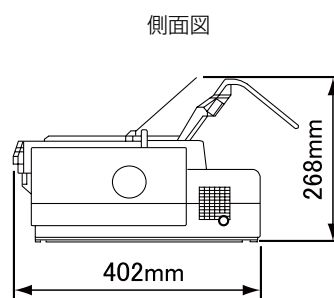
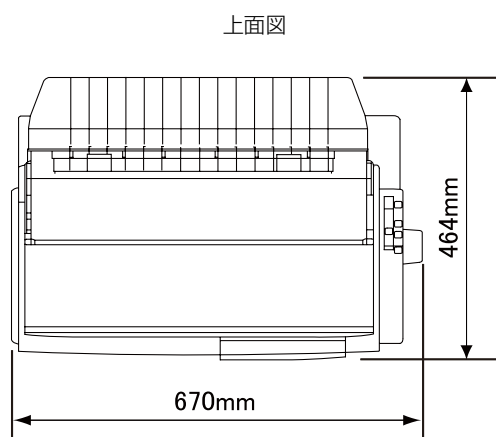
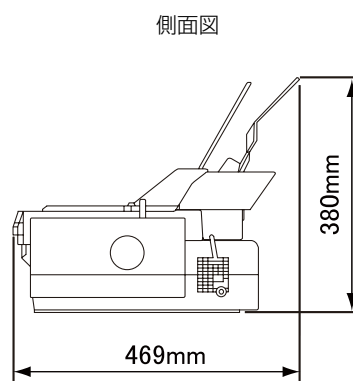
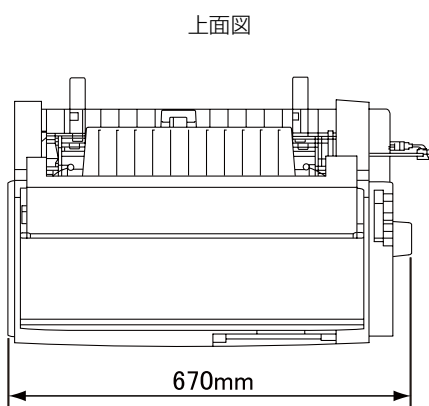
464mm

670mm

側面図

カットシートフィーダ 1 装着時

上面図

側面図

カットシートフィーダ 1/ カットシートフィーダ 2 装着時

上面図

側面図

電源に関するご注意

⚠警告	
AC100V以外の電源は使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。** 感電のおそれがあります。
破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。 また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。 • 電源コードを加工しない • 電源コードに重いものを載せない • 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない • 熱器具の近くに配線しない	**電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。
電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱して火災になるおそれがあります。 家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。	**電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。** 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。
本製品の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。** 感電・火災のおそれがあります。
電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。 コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。	

注意
長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

取り扱い上のご注意

⚠警告	
煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。	**異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、の連絡先は本書裏表紙をご覧ください。
開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。**

⚠警告	
本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。 引火による火災のおそれがあります。	**アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。
お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。	**製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。** 感電や火傷のおそれがあります。
各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。 発火による火災のおそれがあります。また、接続したほかの機器にも損傷を与えるおそれがあります。	

⚠注意	
本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。 特に、子供のいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。	**使用中または使用直後に、プリンタカバーを開けたときはプリントヘッド部分に触れないでください。** 高温になっているため、火傷のおそれがあります。
各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。 火災やけがのおそれがあります。 取扱説明書の指示に従って、正しく取り付けてください。	**本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。** コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。
印刷用紙の端を手でこすらないでください。 用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。	**リボンカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。**
電源投入時および印刷中は、排紙ローラ部に指を近付けないでください。 指が排紙ローラに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。	

さらに以下の点も注意してください。

- 用紙やリボンカートリッジが取り付けられていない状態で印刷しないでください。
- 印刷中にプリンタカバーを開けないでください。
- 印刷中に電源を切らないでください。
- リボンがたるんだ状態で印刷しないでください。

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェアなども含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失など）は、補償いたしかねます。

各部の名称と役割

正面

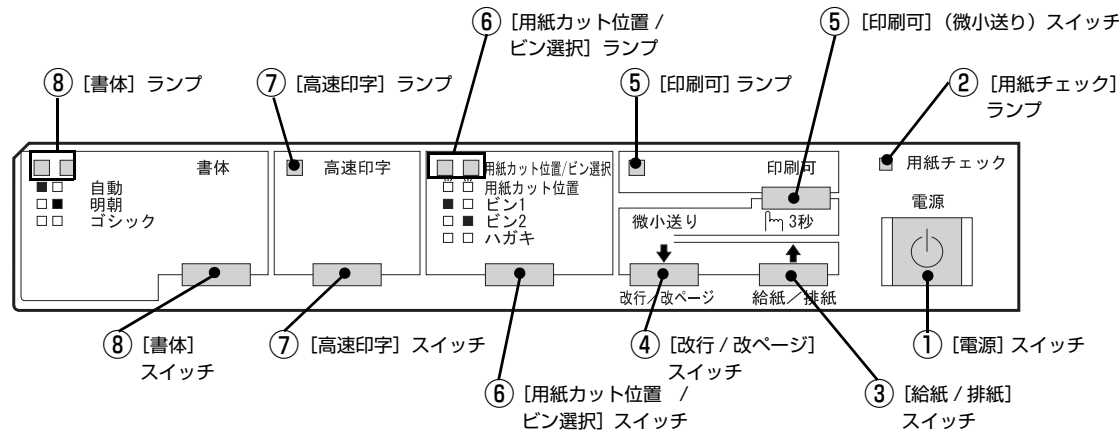
エッジガイド
用紙の幅に合わせてセットします。
用紙ガイド（上）カバー
用紙ガイド（上）のエッジガイドを調整するときなどに開けます。通常は閉じておきます。
プリンタカバー
リボンカートリッジの取り付けや交換、詰まった用紙を取り除くときなどに開けます。通常は閉じておきます。
フロントカバー
単票紙を前から給紙する場合や連続紙をフロントプッシュトラクタにセットするときに開けます。
用紙ガイド（上）
単票紙を上から給紙するときに使用します。
用紙セパレータ
印刷した連続紙がプリンタに巻き込まれるのを防ぎます。
レリースレバー
給紙経路（用紙ガイドから単票紙を給紙するか、プッシュトラクタから連続紙を給紙するか）を切り替えるレバーです。
紙送りノブ
用紙がプリンタ内に詰まったときなど、用紙を手動で送り出す場合に使用します。通常は使用しません。

フロントプッシュトラクタ
前から連続紙を給紙するときに使用します。用紙ガイド（前）の下、プリンタ内部にあります。取り外して、プリンタ上部に取り付けることもできます。
センターサポート
使用する連続紙の幅に合わせて、位置を調整します。
操作パネル
スイッチを操作して、プリンタの機能を設定あるいは実行します。各種のランプはプリンタの状態を表示します。詳細は以下のページをご覧ください。
☞本書 11 ページ「操作パネル」
電源スイッチ
プリンタの電源をオン（｜）/ オフ（○）します。
エッジガイド
用紙の幅に合わせてセットします。
スプロケット（左右）
使用する連続紙の幅に合わせて、連続紙を固定します。
用紙ガイド（前）
単票紙を前から給紙するときに使用します。

内部および背面

アジャストレバー
用紙の厚さや枚数に合わせて用紙面と印字ヘッドの間隔を調整します。用紙ごとの設定値については、以下のページを参照してください。
☞本書32ページ「アジャストレバーの設定」
スプロケット（左右）
使用する連続紙の幅に合わせて、連続紙を固定します。
リボンカートリッジ
印字するためのリボンを収めた物です。印字が薄くなったら、リボンカートリッジまたはインクリボン（リボンパック）を交換してください。
インターフェイススロット
オプションのインターフェイスカードを取り付けます。
排紙ユニット
印刷中の用紙を押さえます。プルトラクタ使用時を除き必ず付けておいてください。
リアプッシュトラクタ
連続紙を給紙するときに使用します。
パラレルインターフェイスコネクタ
コンピュータからのパラレルインターフェイスケーブルを接続します。
センターサポート
使用する連続紙の幅に合わせて、位置を調整します。

操作パネル

操作パネル上のランプでプリンタの状態がわかります。スイッチ操作で各種機能の設定や実行ができます。

ランプの表記　□：点灯　■：消灯　：点滅

①[電源]スイッチ

プリンタの電源をオン（入る）・オフ（切る）します。

> **！注意**
> - 電源の切／入は、5 秒程度待ってから行ってください。切／入の間隔が短すぎるとプリンタの電源部が故障するおそれがあります。
> - 印刷の途中で電源を切らないでください。

②[用紙チェック]ランプ(赤)

ランプ	概要
□	用紙がありません。
点滅	用紙が詰まった、またはレリースレバーの設定に問題があります。

③[給紙／排紙]スイッチ

用紙の種類	概要
連続紙	印刷位置に給紙されていない状態でスイッチを押すと、給紙します。 印刷位置に給紙されている状態でスイッチを押すと、フロントまたはリアプッシュトラクタの位置まで逆送りします。
単票紙	印刷位置に給紙されていない状態でスイッチを押すと、給紙します。 印刷位置に給紙されている状態でスイッチを押すと、排紙します。
微小送り時には↑スイッチ（用紙を排紙側へ送る）として働きます。	

レリースレバーがプルトラクタ位置の場合、［給紙／排紙］スイッチは使用できません。

> **！注意**
> - 連続紙をトラクタ位置に逆送りする前に、出力済みのページを必ず切り離してください。1ページを超える連続紙を逆送りすると、用紙が途中で詰まることがあります。
> - ラベル紙は逆送りしないでください。ラベルが台紙からはがれて、プリンタ内部に貼り付くことがあります。［改行／改ページ］スイッチで紙送りしてください。

> **参考**
> - 使用する用紙と給紙方法に合わせて、レリースレバーを正しく設定してください。
>   ☞ 本書 31 ページ「レリースレバーの設定」
> - 用紙がセットされていると、［給紙／排紙］スイッチを操作しなくても自動給紙し、印刷を開始します。

④[改行 / 改ページ]スイッチ

用紙の種類	概要
連続紙	スイッチを短く押すと改行します。スイッチを押し続けると改ページします。
単票紙	スイッチを短く押すと改行します。スイッチを押し続けると排紙します。
微小送り時には⬇スイッチ（用紙を給紙側へ送る）として働きます。	

⑤[印刷可]（微小送り）スイッチとランプ（緑）

スイッチを短い時間（3 秒未満）押すと印刷可状態と印刷不可状態を切り替えます。印刷可状態のときにランプが点灯します。

ランプが消えているときは、カバーオープンや用紙切れ、紙詰まりなどのトラブルを解消してからスイッチを押し、ランプを点灯させます。

3 秒以上押すと、用紙の位置を微調整するための［微小送りモード］になり、ランプが点滅します。

[微小送りモード]：

［印刷可］スイッチを 3 秒以上押します。

「ピッ」というブザーが鳴ったらスイッチを離してください。ランプが点滅し、微小送りができます。

- ⬇スイッチを押すと、用紙は給紙側へ送られます。
- ⬆スイッチを押すと、用紙は排紙側へ送られます。

微小送りモードを終了させるには、［印刷可］スイッチを短く押します。ランプが点滅から点灯に変わります。

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙位置の微調整（微小送り）」

⑥[用紙カット位置 / ビン選択]スイッチとランプ（緑）

レリースレバーがプルトラクタ位置の場合、［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチは使用できません。

ランプ	概要
用紙カット位置	連続紙を使用している場合に［用紙カット位置］スイッチとして機能します。スイッチを押すと連続紙のミシン目を用紙カット位置まで送り、両方のランプが点滅します。
■ □ ビン 1	オプションのカットシートフィーダを装着している場合に［ビン選択］スイッチとして機能します。スイッチを押してカットシートフィーダの給紙ビン（1 または 2）を選択します。ビン選択については、以下のページを参照してください。 ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「カットシートフィーダ」
□ ■ ビン 2	
□ □ ハガキ	ハガキに印刷する場合に［ハガキモード］スイッチとして機能します。ハガキに印刷する場合にアジャストレバーを「2」に設定してから、スイッチを押して両方のランプを点灯させます。ハガキ以外の用紙に印刷するときは、スイッチを押して両方のランプを消灯させます。

アジャストレバー位置が「2」に設定されていないと、スイッチを押してもハガキモードになりません。

⑦[高速印字]スイッチとランプ（緑）

文字パターンのドットを間引きして、通常より高速に印字します（DOS 環境下で有効）。

高速印字モードのときにランプが点灯します。

試し印刷やリボンカートリッジの消耗を抑えたいときに設定してください。ただし、印字品質は低下します。

- 設定はメモリに記憶され、電源を切っても保持されます。
- プリンタドライバを経由して印刷する場合、［高速印字］スイッチを押し、［高速印字］ランプが点灯していることを確認し、プリンタドライバ上で印刷条件の設定の［印刷品質］を［ドラフト］に設定してください。
☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「Windows からの印刷」－「プリンタドライバの設定」－「設定項目」

⑧[書体]スイッチとランプ(緑)

ランプ	概要
■ □ 自動	ソフトウェアの書体設定に従って印刷します。ソフトウェア上で書体の設定がない場合、漢字は明朝体、英数カナ文字はエプソンローマンで印刷します。
□ ■ 明朝	漢字は明朝体、英数カナ文字はエプソンローマンで印刷します。ただしソフトウェア上で TrueType フォントなどを設定した場合は、ソフトウェアで設定した書体で印刷されることがあります。
□ □ ゴシック	漢字はゴシック体、英数カナ文字はエプソンサンセリフで印刷します。ただしソフトウェア上で TrueType フォントなどを設定した場合は、ソフトウェアで設定した書体で印刷されることがあります。

- 本設定はプリンタの内蔵書体で印刷する場合のみ有効です。オペレーティングシステムやソフトウェアで書体（TrueType フォントなど）を指定できるときは、このスイッチの設定よりソフトウェアの設定が優先されます。
- 設定はメモリに記憶され、電源を切っても保持されます。

プリンタ内蔵書体の印字例

・明朝体

東西南北春夏秋冬
セイコーエプソン
あいうえお

・エプソンローマン

0123456789
ABCDEFGHIJKLMN
abcdefghijklmn

・ゴシック体

東西南北春夏秋冬
セイコーエプソン
あいうえお

・エプソンサンセリフ

0123456789
ABCDEFGHIJKLMN
abcdefghijklmn

（漢字モード）

、 。 ， ． ・ ： ；
… ‥ ‘ ’ “ ” （ ）
∞ ∴ ♂ ♀ ° ′ ″ ℃
↑ ↓ 〓 ∈ ∋ ⊆ ⊇ ⊂
♯ ♭ ♪ † ‡ ¶ ◯ ０
Ｓ Ｔ Ｕ Ｖ Ｗ Ｘ Ｙ Ｚ

（英数カナ文字モード）

```
 !"#$%&'()*+,-./0123456
!"#$%&'()*+,-./01234567
"#$%&'()*+,-./012345678
#$%&'()*+,-./0123456789
$%&'()*+,-./0123456789:
%&'()*+,-./0123456789:;
```

ランプ表示によるプリンタ状態

□：点灯　■：消灯　：点滅
••• ＝短い断続音（ピッピッピッ）、••••• ＝長い断続音（ピーピーピーピーピー）

パネルランプの状態	ブザー鳴動パターン	問題 / 対処方法
□［印刷可］ランプ	ー	印刷可能です。
		ー
■［印刷可］ランプ □［用紙チェック］ランプ	•••	用紙切れです。
		用紙をセットしてください。

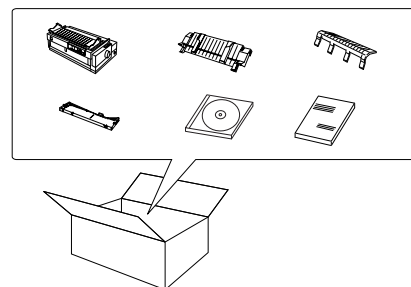
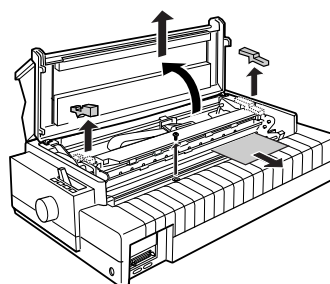
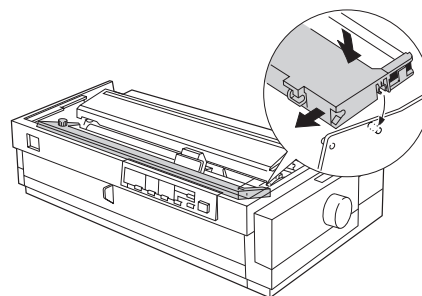
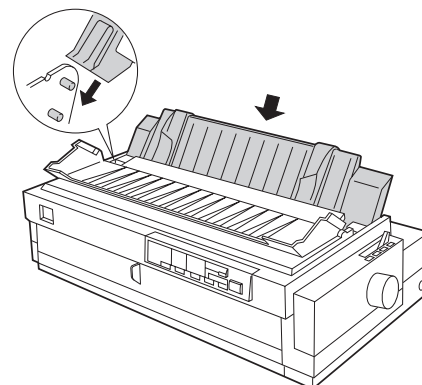
パネルランプの状態	ブザー鳴動パターン	問題	対処方法
■［印刷可］ランプ ☼［用紙チェック］ランプ	•••••	完全に排紙されていません。	［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。
	•••••	用紙が詰まっています。	本書 47 ページ「用紙が詰まったときは」を参照して、詰まった用紙を取り除きます。
☼［印刷可］ランプ	―	プリントヘッドが許容範囲を超えた高温になっています。	［印刷可］ランプの点滅が点灯に変わるまでお待ちください。
	―	微小送りモードが選択されています。	―
■［印刷可］ランプ	•••	プリンタカバーが開いています	プリンタカバーを確実に閉じます。［印刷可］スイッチを押して［印刷可］ランプを点灯させてください。
■ □［用紙カット位置 / ビン選択］ランプ	―	CSF ビン 1 が選択されています。	―
□ ■［用紙カット位置 / ビン選択］ランプ	―	CSF ビン２が選択されています。	―
□ □［用紙カット位置 / ビン選択］ランプ	―	ハガキモードが選択されています。	―
☼ ☼［用紙カット位置 / ビン選択］ランプ	―	連続紙のミシン目が用紙カット位置にあります。	ミシン目で切り離してください。
□［高速印字］ランプ	―	高速印字モードが選択されています。	―
■ □［書体］ランプ	―	自動が選択されています。	―
□ ■［書体］ランプ	―	明朝が選択されています。	―
□ □［書体］ランプ	―	ゴシックが選択されています。	―
☼ すべてのランプ	•••••	不明なプリンタエラーが発生しました。	プリンタの電源を切って数分放置後、再度プリンタの電源を入れてください。それでもエラーが発生するときは、お買い求めいただいた販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。

プリンタのセットアップ

プリンタを箱から取り出し、プリンタが使用できるようにセットアップします。

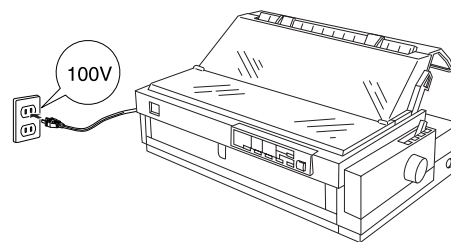
セットアップの流れ

セットアップは以下の手順で行います。

1 同梱物の確認 ☞17 ページ

2 保護材の取り外し ☞17 ページ

3 リボンカートリッジの取り付け ☞18 ページ

4 用紙ガイドの取り付け ☞20 ページ

5 電源接続と動作の確認

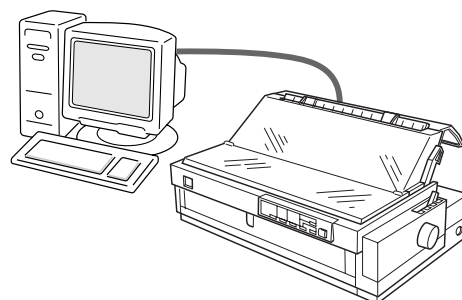
☞20 ページ

電源に接続し、プリンタが問題なく使用できるかどうかを確認します。動作確認はコンピュータと接続していない状態で行います。

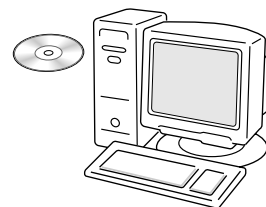
⇩

6 コンピュータとの接続

☞22 ページ

お手持ちのケーブルでプリンタとコンピュータを接続します。

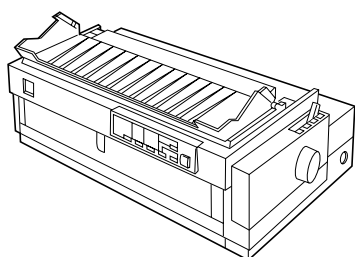
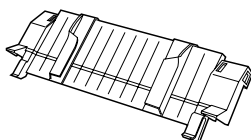
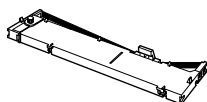
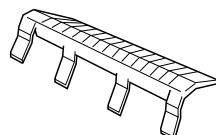
⇩

7 プリンタドライバのインストール

☞24 ページ

Windows で使用するには、同梱の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM に収録されているプリンタドライバやユーティリティソフトなどをコンピュータにインストールする必要があります。

1. 同梱物の確認

次のものがそろっていること、それぞれに損傷のないことを確認してください。

不足品や損傷しているものがございましたら、お買い求めいただいた販売店へご連絡ください。

❑ プリンタ本体

❑ 用紙ガイド（上）

❑ リボンカートリッジ

❑ 用紙セパレータ

❑ VP-1850 取扱説明書
　セットアップと使い方の概要編（本書）

❑ EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM

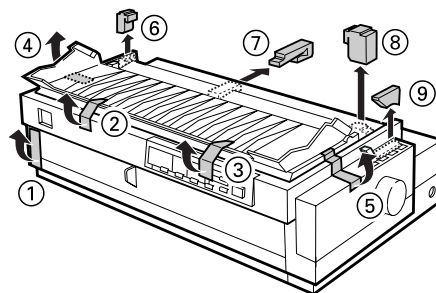
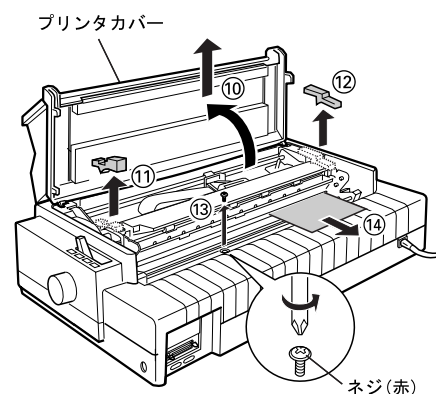
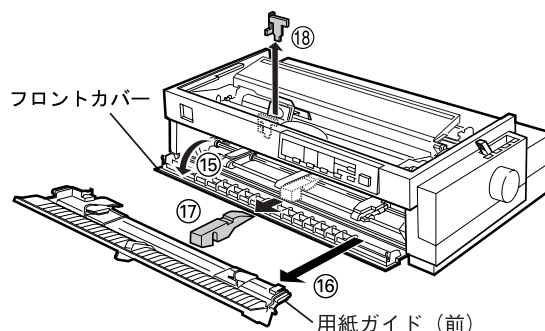
- プリンタドライバ
- EPSON プリンタウィンドウ !2/
  EPSON ステータスモニタ 3
- VP-1850 取扱説明書　詳細編（PDF マニュアル）

上記同梱品のほかに、各種ご案内が同梱されている場合がありますので、ご了承ください。

2. 保護材の取り外し

プリンタ輸送時の衝撃から守るために、保護材がプリンタに取り付けられています。

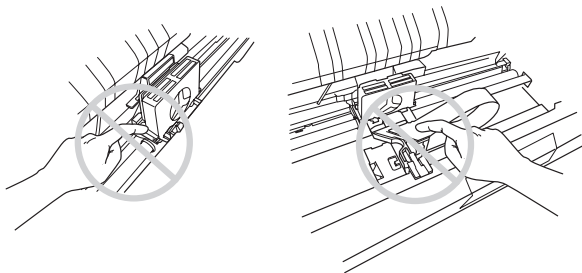
以下の保護材を取り外してください。

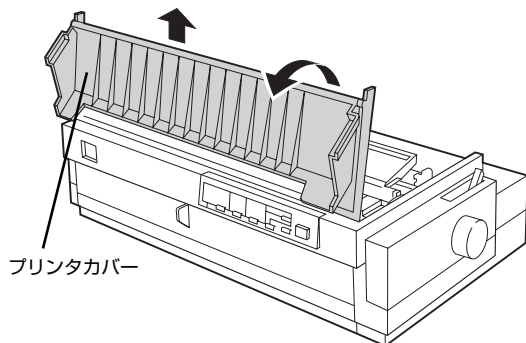
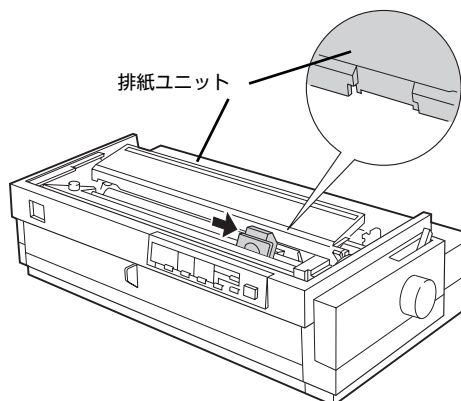
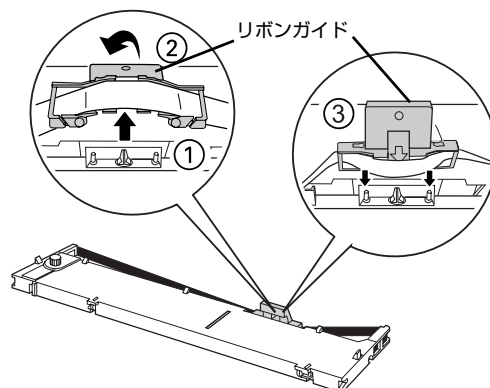
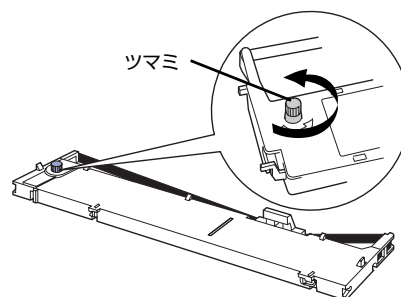
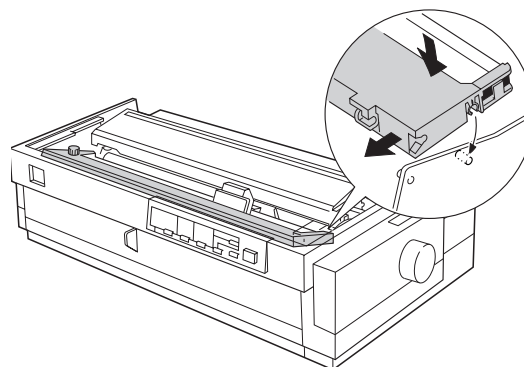
1 **①〜⑨のテープと保護材を取り外します。**

2 **プリンタカバーを開け持ち上げて取り外し（⑩）、⑪ ⑫の保護材と⑬ネジ（赤）、⑭保護紙を取り外します。**

3 **フロントカバーを開けて（⑮）用紙ガイド（前）を取り外し（⑯）、⑰ ⑱の保護材を取り外します。**

! 注意

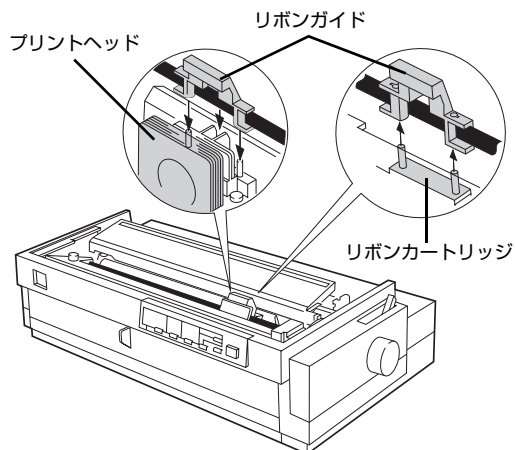
- ネジ（赤）は、大切に保管してください。再輸送時に取り付けてください。
- 梱包箱、梱包材、保護材などは、プリンタの再輸送時に必要です。大切に保管してください。
- 上記以外にも、保護材があった場合は、取り外してください。
- 取り外したプリンタカバー、用紙ガイド（前）は、取り外しの逆の手順で取り付けてください。

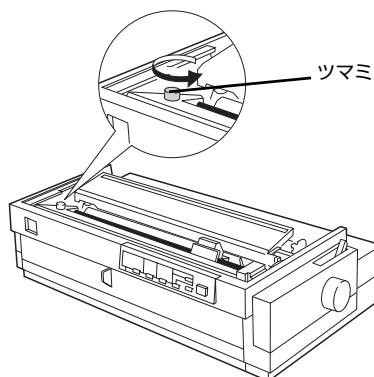
3. リボンカートリッジの取り付け

同梱されているリボンカートリッジをプリンタに取り付けます。リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因となりますので、ていねいに扱ってください。

!注意
リボンカートリッジ取り付け時は、プリンタ内部の白いケーブルに触れないでください。

1 **プリンタの電源が切れていることを確認します。**
電源が切れているときは、操作パネルのランプが消えています。

2 **プリンタカバーを取り外します。**
プリンタカバーの両側を持ち、手前に開いてからゆっくり持ち上げ取り外します。

3 **プリントヘッドをリボン取り付け位置へ移動します。**
リボン取り付け位置は排紙ユニット右側の少しへこんだ部分です。

4 **リボンガイドをリボンカートリッジから外し、90 度回転させて、リボンカートリッジのピンに差します。**

5 **リボンのたるみを取ります。**
リボンカートリッジのツマミを矢印の方向に回してリボンのたるみを取ります。リボンにねじれや折れ曲がりがなく、自由に動くのを確認してください。

6 **リボンカートリッジを取り付けます。**
ツマミが上向きになるようにリボンカートリッジを持ちます。リボンカートリッジ前面両端のくぼみをプリンタ内部にある左右手前側のピンにはめ込み、カートリッジ両側のくぼみとピンがはまるように押し込みます。
リボンカートリッジの両端を軽く押して、傾きやがたつきのないことを確認してください。

7 リボンガイドをプリントヘッドに取り付けます。

リボンガイドをリボンカートリッジから外して、プリントヘッド両側のピンにカチッと音がするまで差し込みます。

8 リボンのたるみを取ります。

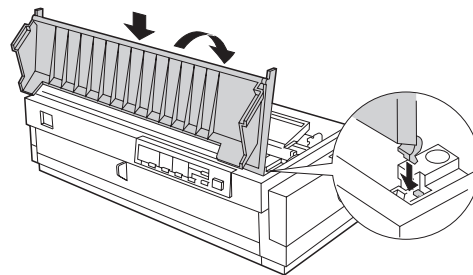
リボンカートリッジのツマミを矢印の方向に回してリボンのたるみを取ります。リボンにねじれや折れ曲がりがなく、自由に動くのを確認してください。

！注意

リボンがたるんだ状態で印刷しないでください。たるんだリボンカートリッジに絡み、リボンが切れたりプリントヘッドが損傷することがあります。リボンはまっすぐで平らな状態でお使いください。

9 プリントヘッドを左右に動かし、リボンが引っかからないことを確認します。

10 プリンタカバーを取り付けます。

プリンタカバー両端をプリンタ左右の穴に差し込んで、ゆっくりと倒し、しっかり閉じます。

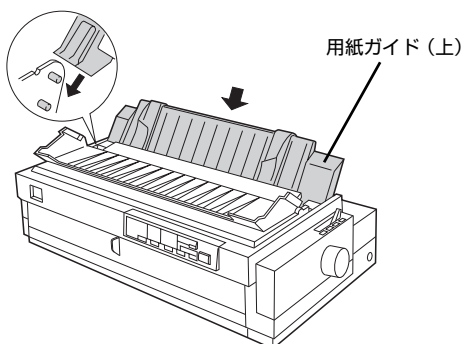
！注意

プリンタカバーが開いていたり、浮いていると、ブザーが鳴り安全装置が働いて印刷ができません。

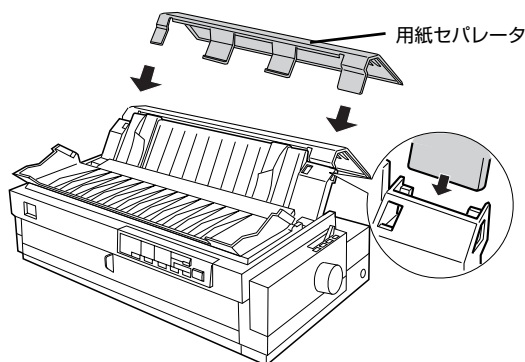
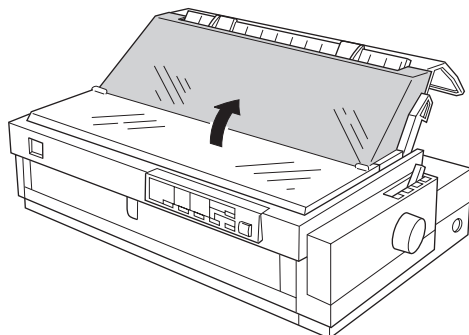
4. 用紙ガイドの取り付け

同梱されている用紙ガイドをプリンタに取り付けます。

1 **プリンタの電源が切れていることを確認します。**

2 **用紙ガイド（上）を取り付けます。**

用紙ガイドの左右外側の溝をプリンタ内部後方にあるピンに沿って差し込みます。

3 **用紙セパレータを用紙ガイド（上）に取り付けます。**

用紙セパレータは、印刷した連続紙がプリンタ内に巻き込まれることを防ぎます。

4 **用紙ガイド（上）カバーを閉じます。**

5. 電源接続と動作確認

電源コードを電源コンセントに接続して、プリンタ単体での動作確認を行います。

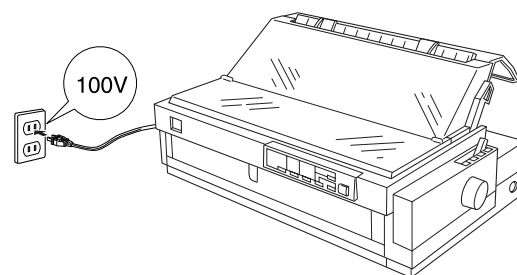
電源との接続

> ⚠注意
>
> 「ご使用の前に」をお読みいただき、正しく取り扱ってください。
>
> ☞ 本書 4 ページ「ご使用の前に」

1 **プリンタの電源が切れていることを確認します。**

電源が切れているときは、操作パネルのランプが消えています。

2 **インターフェイスケーブルが接続されていないことを確認します。**

3 **AC100V のコンセントに電源コードのプラグを正しく差し込みます。**

> **！注 意**
>
> - 電源プラグをコンピュータ背面のコンセントに接続しないでください。
> - 電源の切 / 入は、5 秒程度待ってから行ってください。切 / 入の間隔が短すぎるとプリンタの電源部が故障するおそれがあります。
> - 印刷の途中で電源を切らないでください。

動作の確認

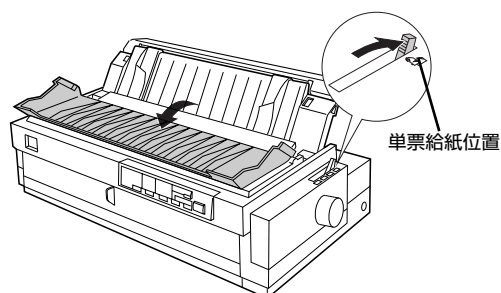
プリンタが正常に動作するかどうかをプリンタ内蔵の印字パターンを印刷して確認します。動作確認はコンピュータと接続していない状態で行います。B4 横長サイズ以上の単票紙を用意してください。

> **参考**
>
> 動作の確認は連続紙を使用することもできます。連続紙のセットの仕方については、以下のページを参照してください。
> ☞ 本書 34 ページ「連続紙の給紙と排紙」

1 **プリンタの電源が切れていることを確認します。**

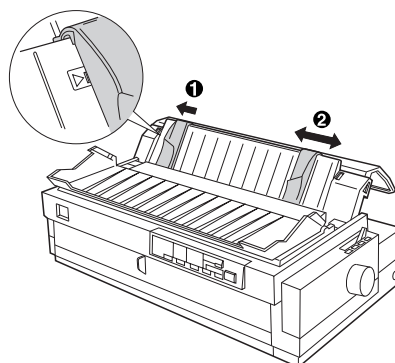
電源が切れているときは、操作パネルのランプが消えています。

> **!注意**
>
> 電源の切 / 入は、5 秒程度待ってから行ってください。切 / 入の間隔が短すぎるとプリンタの電源部が故障するおそれがあります。

2 **用紙ガイド（上）カバーを手前に開け、レリースレバーを単票給紙（ ）位置に設定します。**

3 **プリンタカバーを開け、アジャストレバーを「0」に設定し、プリンタカバーを閉じます。**

一般的な単票用紙や連続紙に印刷する場合は「0」に設定してください。厚手の用紙や複写紙に印刷する場合は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 32 ページ「アジャストレバーの設定」

4 **エッジガイド位置を調整します。**

エッジガイド（左）を用紙ガイドのマーク（▷|）に合わせ、エッジガイド（右）を使用する用紙の幅に合わせます。

> **!注意**
>
> B4 横置きまたは 360mm（14 インチ）以上の幅の用紙を使用してください。紙幅が狭いと、用紙をはみ出して印刷します。

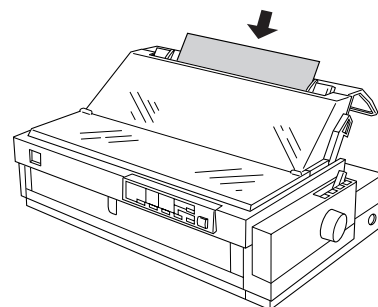
5 **用紙ガイド（上）カバーを閉じます。**

6 **[改行 / 改ページ] または [給紙 / 排紙] どちらかのスイッチを押したまま電源を入れます。**

- ［改行 / 改ページ］スイッチ：
  英数カナ文字モード印字をします
- ［給紙 / 排紙］スイッチ：
  漢字モード印字をします

［用紙チェック］ランプが点灯します。

7 **用紙を用紙ガイド（上）にセットします。**

エッジガイドに沿って単票紙を差し込みます。
単票紙の先端が突き当たるまで差し込むと、自動的に給紙して動作確認を実行します。

> **⚠注意**
>
> 印刷中はプリンタカバーを開けないでください。カバーを開けると印刷が中断します。印刷を再開するにはプリンタカバーを閉じ［印刷可］スイッチを押します。

<印刷結果例（一部抜粋してあります）>

・漢字モード

```
     、 。 ; ・ ・ : ;
…  ‥  ‘ ; “ ” ( )
∞ ∴ ♂ ♀ ° ′ ″ ℃
↑ ↓ 〓 ∈ ∋ ⊆ ⊇ ⊂
♯ ♭ ♪ † ‡ ¶ ◯ 0
S T U V W X Y Z
```

・英数カナ文字モード

```
 !"#$%&'()*+,-./0123456
!"#$%&'()*+,-./01234567
"#$%&'()*+,-./012345678
#$%&'()*+,-./0123456789
$%&'()*+,-./0123456789:
%&'()*+,-./0123456789:;
```

参考

印刷中に［印刷可］スイッチを押すと印刷は停止します。再度押すと印刷を再開します。１枚目の印刷が終了し、続いて２枚目の用紙に印刷する場合は、次の用紙をセットすると自動的に印刷します。

8 **[印刷可] スイッチを押して印刷を終了させてから、プリンタの電源を切ります。**

［印刷可］スイッチが押されるまで印刷は繰り返して行われます。プリンタに用紙が残っているときは、［給紙 / 排紙］スイッチを押して用紙を排紙してから電源を切ってください。

！注 意

電源の切/入は、5秒程度待ってから行ってください。切/入の間隔が短すぎるとプリンタの電源部が故障するおそれがあります。

9 **印刷結果を確認します。**

7 の印刷結果のように印刷されていればプリンタは正常に動作しています。セットアップ終了後、印刷できないなどのトラブルが発生した場合は、インターフェイスケーブルやコンピュータの状態を確認してください。

参考

手順通りに実行しても印刷できない、プリンタが動作しないときは、お買い求めいただいた販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。
エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。

続いてコンピュータに接続します。

6. コンピュータとの接続

本製品は、パラレルインターフェイスケーブルでコンピュータにローカル接続するか、オプションのインターフェイスカードを使用して Ethernet ケーブルでネットワークに接続することができます。

参考

お使いのコンピュータや接続環境によって使用するケーブルが異なるため、同梱されていません。別途ご用意ください。

ローカル接続

コンピュータにローカル接続する場合は、パラレルインターフェイスケーブルをご用意ください。

ケーブル	機種	接続ケーブル
パラレル インターフェイス	DOS/V 仕様機	PRCB4N

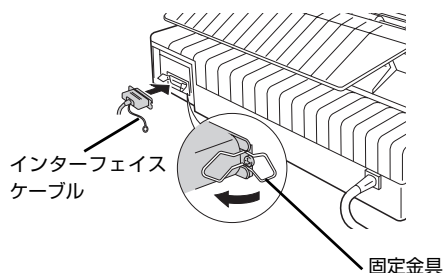
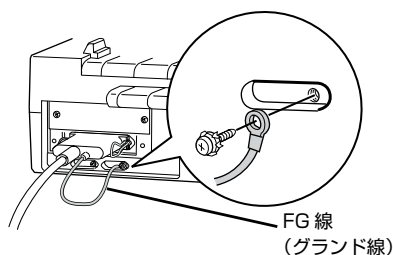
！注 意

- 推奨ケーブル以外のケーブルを使用すると正常に印刷できない場合があります。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。

参考

- プリンタにオプションのインターフェイスカード（VPIF3）を取り付けてコンピュータを接続するときは、以下のページを参照してください。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「インターフェイスカード」－「取り付け方」
- オプションのインターフェイスカードを使用するときは、自動インターフェイス選択機能により使用するインターフェイスを自動的に選択できます。インターフェイス選択機能については、以下のページを参照してください。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタ設定値の変更」－「操作パネルからの設定」

1 **電源が切れていることを確認します。**
プリンタの電源とコンピュータの電源が切れていることを確認します。

2 **インターフェイスケーブルをプリンタに接続します。**
インターフェイスケーブルをプリンタのインターフェイスコネクタにしっかり差し込み、左右のコネクタ固定金具を内側に起こして固定します。

3 **FG 線 * を接続します。**
インターフェイスケーブルに FG 線（グランド線）が付いているときは、コネクタの横にある FG 線取り付けネジを使って接続します。
* FG（グランド）線：ノイズによる誤動作を防止するための接続線

4 **もう一方のコネクタをコンピュータのコネクタに差し込みます。**

以上でコンピュータとの接続は終了です。コンピュータ側の接続については、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

Windows 環境でお使いの場合は、続いてプリンタドライバなどをインストールします。本書 24 ページ「7. プリンタドライバのインストール」へ進んでください。

ネットワーク接続

ネットワーク接続するには、オプションのインターフェイスカードが必要です。インターフェイスカードの取り付けはPDFマニュアルの以下のページを参照して行ってください。

『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「インターフェイスカード」－「取り付け方」

型番	名称	解説
PRIFNW7	100BASE-TX/ 10BASE-T マルチプロトコル ネットワーク I/F カード	本製品をEthernetでネットワーク環境に接続するためのインターフェイスカードです。 TCP/IP、NetBEUI、AppleTalk に対応しています。 接続には、Ethernet ツイストペアケーブル（カテゴリー 5 以上）が別途必要です。 ネットワーク上の設定については、インターフェイスカードの取扱説明書を参照してください。

参考

- オプションのインターフェイスカードを使用するときは、自動インターフェイス選択機能により使用するインターフェイスを自動的に選択できます。インターフェイス選択機能については、以下のページを参照してください。
  『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタ設定値の変更」－「操作パネルからの設定」
- プリンタを共有する場合は、本製品の標準パラレルインターフェイスをご利用いただけます。オプションは必要ありません。
  プリンタ共有については、PDF マニュアルの以下のページを参照してください。
  『取扱説明書　詳細編』（PDFマニュアル）－「Windows からの印刷」－「プリンタの共有」

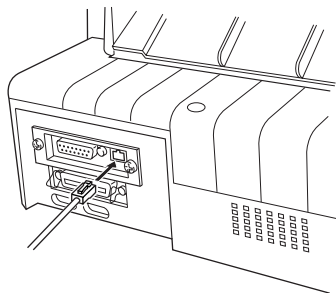
！注 意

- 本製品の電源を入れた状態で、ネットワークケーブルを抜き差ししないでください。
- ネットワークへは 10BASE-T/100BASE-TX どちらでも接続できますが、ネットワーク機能を最高のパフォーマンスに保つためには、100BASE-TX の最速ネットワークを、ネットワーク負荷の軽い環境で使用されることをお勧めします。
- 100BASE-TX 専用 HUB を使用する場合は、接続されるすべての機器が 100BASE-TX 対応であることを確認してください。
- ネットワークに有線で接続するときは HUB をお使いください。HUB を使わずにクロスケーブルで接続することはできません。
- 一部スイッチングHUBでは正常に動作しないことがあります。その場合はスイッチング HUB と本製品の間に自動切り替えのない HUB を入れるなどの方法をお試しください。

1 **プリンタの電源が切れていることを確認します。**

2 **オプションのインターフェイスカードを装着してから Ethernet ケーブルを接続します。**

オプションのインターフェイスカードの装着方法は、PDF マニュアルの以下のページを参照してください。

☞『取扱説明書　詳細編』(PDF マニュアル)－「オプションと消耗品」－「インターフェイスカード」－「取り付け方」

3 **ケーブルのもう一方のコネクタを、HUB の空いているポートに差し込みます。**

コンピュータへのケーブルの接続については、コンピュータの取扱説明書を参照してください。

以上でコンピュータとの接続は終了です。

インターフェイスカードの設定方法については、お使いのインターフェイスカードの取扱説明書を参照してください。

7. プリンタドライバのインストール

Windows プリンタドライバやプリンタ監視ユーティリティ（EPSON プリンタウィンドウ !2、EPSON ステータスモニタ 3）などをインストールします。

！注意

Macintosh、Windows 3.1/95/98/Me/NT3.51/NT4.0 をお使いの場合は、『補足説明書　セットアップと印刷方法』を参照してください。
『補足説明書　セットアップと印刷方法』はエプソンのホームページからダウンロードしてください。
【サービス名】ダウンロードサービス
【アドレス】　http://www.epson.jp/

参考

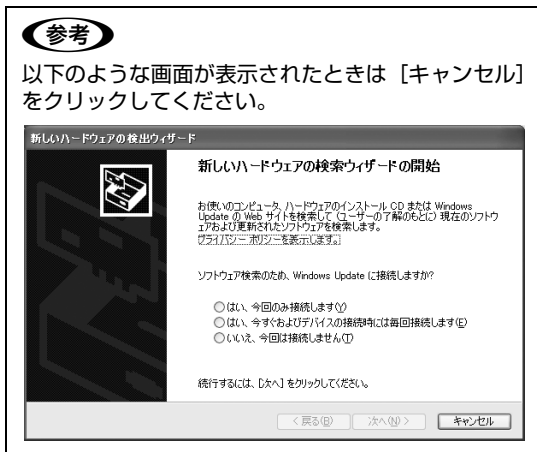
- Windows 2000/XP(32bit) 環境でお使いの場合は、OS 標準搭載のプリンタドライバをプラグアンドプレイ機能またはプリンタの追加からインストールします。
- Windows XP(64bit) ではプリンタを検出すると、自動的に OS 標準添付のプリンタドライバである [EPSON VP-1850] がインストールされますが、本製品同梱のプリンタドライバは [EPSON VP-1850 ESC/P] となります。プリンタドライバのプロパティ画面を開くときや、印刷時には [EPSON VP-1850 ESC/P] を選択してください。Windows XP(64bit) の仕様上、OS 標準添付のプリンタドライバである [EPSON VP-1850] は削除せずにそのままの状態で使用してください。
- Windows Vista/7 では、OS 標準添付のプリンタドライバである [EPSON VP-1850] と、本製品同梱のプリンタドライバ [EPSON VP-1850 ESC/P] の 2 つがインストールされる場合があります。
  製品同梱のプリンタドライバのご使用をお勧めします。プリンタドライバのプロパティ画面を開くときや、印刷時には [EPSON VP-1850 ESC/P] を選択してください。
- EPSON プリンタウィンドウ !2 は、Windows 95/98/Me/NT3.51/NT4.0/2000/XP(32bit) でご使用いただけます。
- EPSON ステータスモニタ 3 は、Windows XP(64bit)/Vista/7 でご使用いただけます。
- Windows 2000/XP(32bit)をお使いの場合は、OS に標準添付されているプリンタドライバをインストールしてから、本製品同梱の CD-ROM に収録されている EPSON プリンタウィンドウ !2 をインストールしてください。[ソフトウェア一覧] で [EPSON プリンタウィンドウ !2] を選択してインストールします。
- EPSON プリンタウィンドウ !2/EPSON ステータスモニタ 3 は、プリンタの状態を監視して、エラーメッセージなどを画面に表示するユーティリティです。プリンタドライバのインストール後、続けてインストールすることができます。
  EPSON プリンタウィンドウ !2/EPSON ステータスモニタ 3 で監視できるプリンタの接続形態は以下です。
  - パラレル接続でのローカルプリンタ
  - Windows 共有プリンタ
  - TCP/IP接続プリンタ（オプションのPRIFNW7を使用）
  双方向通信をサポートしていないコンピュータでは使用できません。
- Windows プリンタドライバを使用しない特殊なアプリケーションソフトをお使いの場合に、プリンタドライバや EPSON プリンタウィンドウ !2/EPSON ステータスモニタ 3 をインストールすると正常に印刷されなくなることがあります。このような環境ではプリンタドライバや EPSON プリンタウィンドウ !2/EPSON ステータスモニタ 3 をインストールしないようにしてください。

1 プリンタの電源を切ります。

指示があるまでプリンタの電源を入れないでください。

2 Windows を起動します。

管理者権限のあるユーザー（Administrator）でログインしてください。

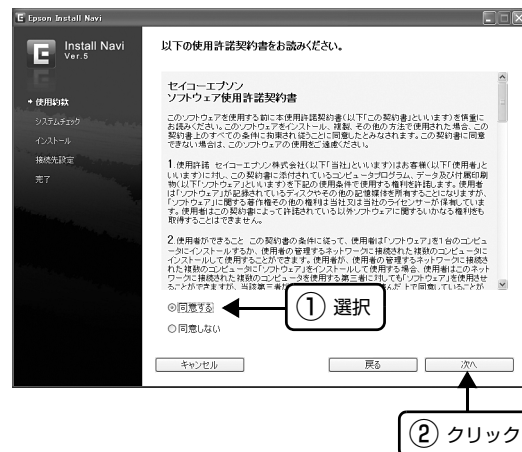
> **参考**
>
> 以下のような画面が表示されたときは［キャンセル］をクリックしてください。
>
>
>

3 EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

4 ［簡単インストール］をクリックします。

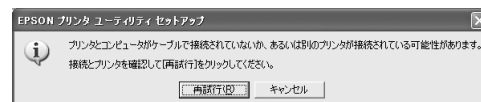
> **参考**
>
> 上記の画面が表示されないときは、［マイコンピュータ］-［CD-ROM］-［Epsetup.exe］をダブルクリックしてください。

5 以下の画面が表示されたら、内容を確認して［同意する］を選択し、［次へ］をクリックします。

ソフトウェアのインストールが始まります。

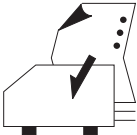
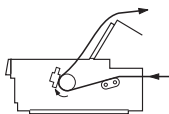
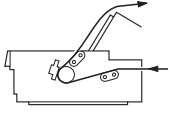
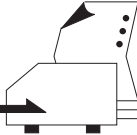
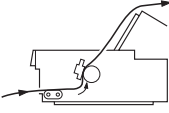
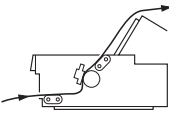
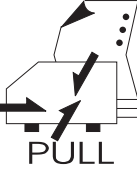
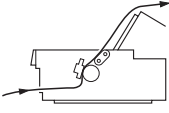
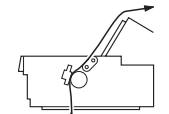
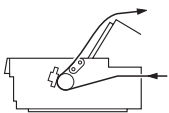
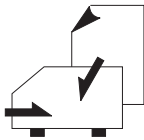
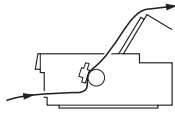
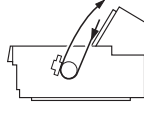
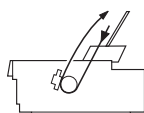
［同意しない］をクリックした場合は、［キャンセル］をクリックしてインストールを終了させます。

6 しばらくすると、以下の画面が表示されます。プリンタの電源を入れてください。

プリンタの接続先を設定します。

> **参考**
>
> の画面表示後、約３分経過してもプリンタの接続が確認できない、あるいは印刷先のポートが認識できないと、以下のような画面が表示されます。
>
>
>
>
> プリンタの電源が入っているか、推奨ケーブルが正しく接続されているかを確認して、［再試行］をクリックし、［手動設定］から接続しているポートを選択してください。

7 以下のような画面が表示されたら［終了］をクリックします。

8 ［終了］をクリックします。

以上で終了です。

給紙と排紙

本製品の給紙経路、使用できる用紙とセット方法などを説明します。

給紙経路と用紙

本製品ではプリンタの前後、上下から給紙することができます。給紙する用紙の種類と経路を選択するには、レリースレバーを使用します。

レリースレバーには 4 つの設定位置があります。それぞれの設定位置には、給紙する用紙と給紙経路を示すイラストが描かれています。

<table>
<tr><th colspan="2">用紙種類</th><th>レリースレバー</th><th>給紙経路
（トラクタ装着位置）</th><th>給紙方法</th></tr>
<tr><td rowspan="3">連続紙</td><td rowspan="3">• 上質紙、再生紙あるいは複写紙（ノンカーボン紙）
• 複写紙は最大6枚（オリジナル＋５枚）まで可
• 連続ラベル紙の台紙への印刷は不可</td><td>リアプッシュトラクタ</td><td>後部給紙（後部および上部）
リアプッシュトラクタ
リアプッシュトラクタ
＋プルトラクタ</td><td>リアプッシュトラクタ
（プルトラクタ併用可）
連続紙をプリンタ後部に取り付けたトラクタから給紙するときにこの位置に合わせます。また、トラクタをプリンタ上部に取り付けると、リアプッシュトラクタが押し出した用紙を同時に引き上げて給紙することもできます。</td></tr>
<tr><td>フロントプッシュトラクタ</td><td>前部給紙（前部および上部）
フロントプッシュトラクタ
フロントプッシュトラクタ
＋プルトラクタ（オプション）</td><td>フロントプッシュトラクタ
（プルトラクタ併用可）
連続紙をプリンタ前部に取り付けたトラクタから給紙するときにこの位置に合わせます。また、オプションのプルトラクタをプリンタ上部に取り付けると、フロントプッシュトラクタが押し出した用紙を同時に引き上げて給紙することもできます。</td></tr>
<tr><td>プルトラクタ
PULL</td><td>前部給紙（上部）
底部給紙（上部）
後部給紙（上部）</td><td>プルトラクタ
連続紙をプリンタ上部に取り付けたトラクタで給紙するときにこの位置に合わせます。
プリンタの前部、後部または底部から連続紙を給紙できます。</td></tr>
</table>

用紙種類		レリース レバー	給紙経路 （トラクタ装着位置）	給紙方法
単票紙	• 上質紙、再生紙、複写紙（ノンカーボン紙） • 複写紙は最大6枚(オリジナル＋５枚）まで可 • 単票ラベル紙は使用不可	単票給紙	前部給紙	用紙ガイド（上／前)、またはオプションのカットシートフィーダ（単票複写紙は、カットシートフィーダビン １（VP1800CSFA）のみ）から給紙します。
ハガキ	• 原則として郵便ハガキ、私製ハガキの場合は正しい寸法のもの		上部給紙 カットシートフィーダ	用紙ガイド（上／前)、またはオプションのカットシートフィーダビン１（VP1800CSFA）から給紙します。

印刷できる用紙

本製品で印刷できる用紙は下表の通りです。用紙仕様の詳細や注意事項、使用できない用紙の情報は『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）に掲載されています。

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」

給紙ミスや紙詰まりを防止するために以下のページを参照してください。

☞ 本書 48 ページ 「用紙詰まりの予防」

• 連続紙（連続複写紙）

項目	一枚紙	複写紙
品質	上質紙、再生紙	ノンカーボン紙 （オリジナル＋5枚まで）
用紙幅 （台紙幅）	101.6 ～ 406.4mm（4.0 ～ 16.0 インチ）	
折り畳み長	101.6 ～ 558.8mm（4.0 ～ 22.0 インチ）	
用紙厚	0.065 ～ 0.36mm	
用紙連量	45 ～ 70kg （坪量 52 ～ 81.3g/m^2）	34 ～ 50kg （坪量 40 ～ 58g/m^2） （1 枚当たり）

※ 用紙連量は、四方判紙（788 × 1091mm^2）1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。

参考

プリンタドライバでの、連続紙の「用紙サイズ」の設定は以下を参考にしてください。

① 用紙の横のサイズと縦（ミシン目とミシン目の間）を計ります。
② プリンタドライバ上では、インチ単位でサイズが表示されるため、計ったサイズをインチ単位に置き換えます（1 インチは、約 25.4mm です。ここでは、仮に横 8 インチ×縦 4.67 インチの用紙とします）。
③ プリンタドライバの［用紙サイズ］リストから、8 × 4.67 インチに合うサイズとして、「15 × 4　2/3 インチ」を選択します。プリンタドライバ上では、4.67 インチを 4 2/3 インチと分数で表現しています。
また、4 インチ未満の縦サイズ、たとえば 3.3 インチの場合、10 インチ（3 等分）のように、等分で表現しています。

• 連続ラベル紙

項目	ラベル紙
品質	上質紙
台紙用紙幅	101.6 ～ 406.4mm （4.0 ～ 16.0 インチ）
台紙折り畳み長	101.6 ～ 558.8mm （4.0 ～ 22.0 インチ）
推奨ラベルサイズ	幅　：63.5mm（2.5 インチ）以上 長さ：23.8mm（0.94 インチ）以上 R　：2.5mm（0.1 インチ）以上
用紙厚 （台紙含む）	0.16 ～ 0.19mm
用紙連量	55kg（坪量 63.9g/m^2）

※ 用紙連量は、四方判紙（788 × 1091mm^2）1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。

• 単票紙（単票複写紙）

項目	一枚紙	複写紙 [*2]
品質	上質紙 [*1]、普通紙、PPC 用紙、再生紙	ノンカーボン紙 （オリジナル＋ 5 枚まで）
種類	－	用紙ガイド（上）： 天のり 用紙ガイド（前）： 天のり、横のり
用紙幅	100 ～ 420mm（3.9 ～ 16.5 インチ）	
用紙長	用紙ガイド（上）： 100 ～ 420mm（3.9 ～ 16.5 インチ） 用紙ガイド（前）： 148 ～ 420mm（5.8 ～ 16.5 インチ）	
用紙厚	0.065 ～ 0.14mm	0.12 ～ 0.36mm
用紙連量	45 ～ 78kg （坪量 52.3 ～ 82.7g/m^2）	34 ～ 50kg （坪量 40 ～ 58g/m^2） （1 枚当たり）

[*1]：本書では、上質紙、普通紙、PPC 用紙を総称として、上質紙と表記します。
[*2]：横のり綴じ単票複写紙は用紙ガイド（前）のみで使用できます。
※ 用紙連量は、四方判紙（788 × 1091mm^2）1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。

使用できる定形紙とセット方向は下表の通りです。

用紙サイズ	用紙ガイド（前）	用紙ガイド（上）
B4（257 × 364mm）	縦長、横長	縦長、横長
B5（182 × 257mm）	縦長、横長	縦長、横長
B6（128 × 182mm）	縦長	縦長、横長
A3（297 × 420mm）	縦長、横長	縦長、横長
A4（210 × 297mm）	縦長、横長	縦長、横長
A5（148 × 210mm）	縦長、横長	縦長、横長
A6（105 × 148mm）	縦長	縦長、横長

※: B4 横より幅の広い単票用紙を使用するときは、左のエッジガイドをマークより左に寄せて使用してください。最大印字桁数は 136 桁ですので、用紙によっては左右マージン（余白部分）が多くなります。

参考

- 用紙の厚さに応じてアジャストレバーを設定してください。
  ☞ 本書 32 ページ 「アジャストレバーの設定」
- オプションのカットシートフィーダで使用できる用紙の種類については以下のページを参照してください。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「カットシートフィーダ」

• ハガキ

項目	詳細	
品質	郵便ハガキ	郵便往復ハガキ
用紙幅	100mm	148mm
用紙長	148mm	200mm
用紙厚	0.22mm	
用紙連量	165kg（坪量 191.5g/m^2）相当	

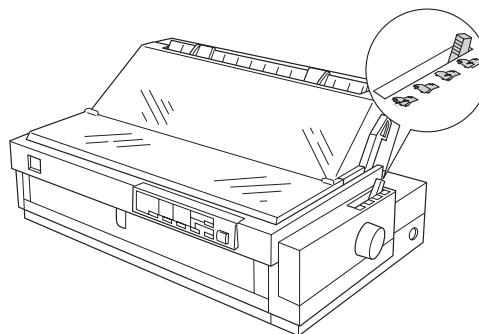
※ 用紙連量は、四方判紙（788 × 1091mm^2）1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。

ハガキのセット方向は下表の通りです。

ハガキ種類	用紙ガイド（前）	用紙ガイド（上）
通常ハガキ（100×148mm）	縦長	縦長、横長
往復ハガキ（148×200mm）	縦長、横長	縦長、横長

レリースレバーの設定

プリンタの前後、上下から給紙することができます。給紙する用紙の種類と経路を選択するには、レリースレバーを使用します。

レリースレバーには 4 つの設定位置があります。それぞれの設定位置には、給紙する用紙と給紙経路を示すイラストが描かれています。

イラストが示す意味は、それぞれ次のとおりです。

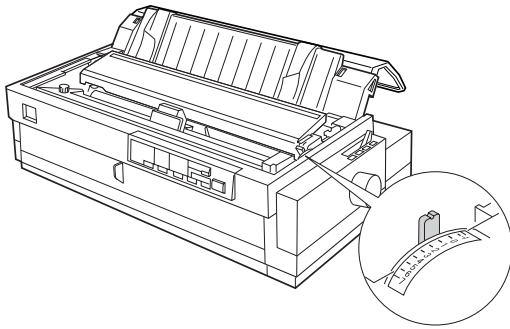
	単票給紙 単票紙やハガキを給紙するときにこの位置に合わせます。 用紙ガイド（前）または用紙ガイド（上）、オプションのカットシートフィーダから給紙します。
	リアプッシュトラクタ（プルトラクタ併用可） 連続紙をプリンタ後部に取り付けたトラクタから給紙するときにこの位置に合わせます。また、トラクタをプリンタ上部に取り付けると、リアプッシュトラクタが押し出した用紙を同時に引き上げて給紙することもできます。
	フロントプッシュトラクタ（プルトラクタ併用可） 連続紙をプリンタ前部に取り付けたトラクタから給紙するときにこの位置に合わせます。また、オプションのプルトラクタをプリンタ上部に取り付けると、フロントプッシュトラクタが押し出した用紙を同時に引き上げて給紙することもできます。
	プルトラクタ 連続紙をプリンタ上部に取り付けたトラクタで給紙するときにこの位置に合わせます。 プリンタの前部、後部または底部から連続紙を給紙できます。

参考

連続ラベル紙はフロントプッシュトラクタまたはプルトラクタ（フロント / ボトム）から給紙します。

アジャストレバーの設定

給紙する用紙の厚さに合わせてアジャストレバーを調整する必要があります。

一般的な単票用紙や連続紙に印刷する場合は、アジャストレバー位置を「0」に設定して印刷します。厚手の用紙や特殊紙（複写紙、ハガキ、ラベル紙）に印刷する場合には、用紙厚に合わせて次の表のようにアジャストレバーを調整します。

用紙の種類・枚数		アジャストレバーの設定値 *
1枚紙	通常、薄手	0
	厚手	0
複写紙	2枚	0
	3枚	1
	4枚	2
	5枚	3
	6枚	4
ラベル、ハガキ		2

* : -1、5、6、7 は通常は使用しません。

!注意

- 厚手の用紙や特殊紙に印刷する場合は、印刷領域に注意してください。ソフトウェアで印刷領域を設定する際、必ず印字推奨領域内で印刷するように設定してください。アジャストレバーの設定が大きいときに印字推奨領域外で印刷すると、プリントヘッドを損傷するおそれがあります。
- ハガキを使用するときは、アジャストレバーを「2」に設定し、[用紙カット位置 / ビン選択] スイッチを押してハガキモードにしてください。
  ☞ 本書 11 ページ 「操作パネル」
- 上記の表は目安です。用紙の厚さに対してアジャストレバーの設定値が大きすぎると、印刷がかすれたり、印刷抜けを起こす場合があります。逆に設定値が小さすぎると、インクリボンや用紙が傷んだり、用紙が汚れたり、用紙が正しく送られない場合があります。大量に印刷する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。

トラクタユニットの付け替え

本製品は2つのトラクタが標準で用意されています。後部のプッシュトラクタは取り外すことはできません。前部にあるフロントプッシュトラクタは取り外してプリンタの上部に取り付け、プルトラクタとして使用することができます。

!注意

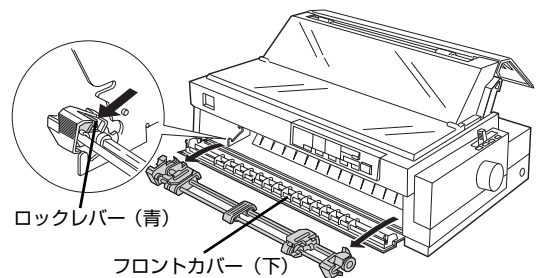
プリンタ後部のリアプッシュトラクタは取り外すことができません。無理に取り外さないでください。

フロントプッシュトラクタの取り外し

トラクタユニットの取り付け位置を変更するときは、現在取り付けてあるフロントプッシュトラクタを取り外します。

1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **フロントカバーを開け、用紙ガイド（前）の両端を持って取り外します。**

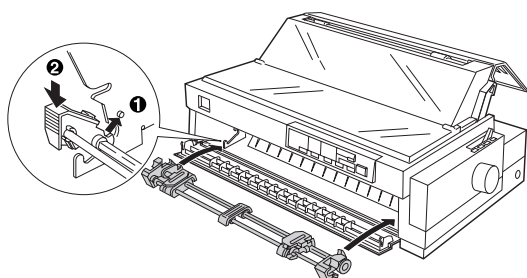
3 **フロントプッシュトラクタの左右のロックレバー（青）をつまみ、上に持ち上げるようにして取り外します。**

取り付けてあるトラクタは、フックでプリンタに固定されていますので、無理に引っ張らないでください。取り外すときはロックレバーを押さえながら持ち上げてください。

次にトラクタユニットを取り付けます。
☞ 本書 33 ページ「フロントプッシュトラクタ位置への取り付け」
☞ 本書 33 ページ 「プルトラクタ位置への取り付け」

フロントプッシュトラクタ位置への取り付け

1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **フロントカバーを開け、用紙ガイド（前）の両端を持って取り外します。**

3 **トラクタユニットの左右のレバーを持ち、図のように取り付けます。**

以上で付け替え作業は終了です。用紙ガイド（前）を、用紙をセットした後に取り付けます。用紙のセット方法については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 36 ページ 「フロントプッシュトラクタ」

プルトラクタ位置への取り付け

> **参考**
> オプションのプルトラクタも以下の手順で取り付けてください。

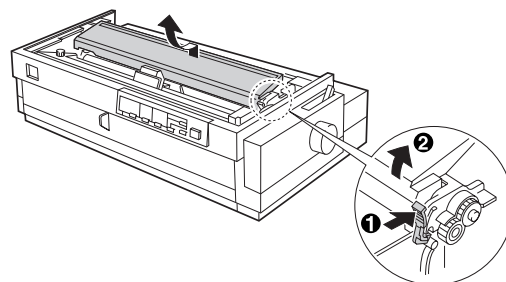
1 **プリンタの電源を切ります。**

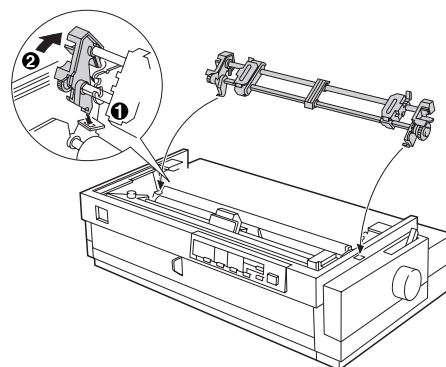
2 **プリンタカバーを取り外します。**
プリンタカバーの両側を持ち、手前に開いてから取り外します。

> ⚠注意
> プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、しばらく触らないでください。

> **！注 意**
> プリンタの電源を入れたままプリントヘッドを手で動かさないでください。プリンタが損傷を受ける場合があります。

3 **用紙ガイド（上）を取り外します。**

4 **排紙ユニットを取り外します。**
左右のレバー状の取っ手を同時に押し上げてから、持ち上げて取り外します。取り外した排紙ユニットは安全な場所に保管します。

> **！注 意**
> 排紙ユニットを取り外すときに、アジャストレバーの位置を変更してしまう場合があります。設定を変えてしまった場合は、正しい位置に戻してください。
> ☞ 本書 32 ページ 「アジャストレバーの設定」

5 **トラクタユニットの左右のレバーを持ち、図のように取り付けます。**
左右のギアが下に向かって奥側になるようにトラクタを両手で持ちます。そのままトラクタをプリンタ内の金属フレーム両側にある小さな穴にはめ込み、フックがかかるように両側を後ろへゆっくり押さえつけます。

6 **プリンタカバーを取り付けます。**
プリンタカバー両端をプリンタ左右の穴に差し込んで、ゆっくりと倒し、しっかり閉じます。

以上で付け替え作業は終了です。用紙をセットした後に用紙ガイド（上）を、取り付けます。用紙のセット方法については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 36 ページ 「フロントプッシュトラクタ」
☞ 本書 38 ページ 「プルトラクタ」
☞ 本書 40 ページ 「プッシュ / プルトラクタ」

> **！注 意**
> - プルトラクタを装着しない場合は、排紙ユニットはプリンタに必ず取り付けておいてください。
> ☞ 本書 34 ページ 「排紙ユニットの取り付け」
> - プリンタカバーが開いていたり、浮いていると、ブザーが鳴り安全装置が働いて印刷ができません。

排紙ユニットの取り付け

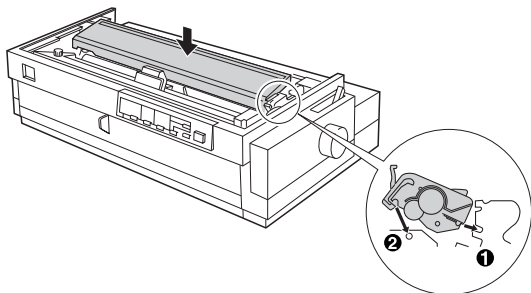
1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **プリンタカバーを取り外します。**
プリンタカバーの両側を持ち、手前に開いてから取り外します。

> ⚠注意
> プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、しばらく触らないでください。

> **!注意**
> プリンタの電源を入れたままプリントヘッドを手で動かさないでください。プリンタが損傷を受ける場合があります。

3 **用紙ガイド（上）を取り外します。**

4 **排紙ユニットを取り付けます。**
取り付け位置にある金属フレームの下側に設けられている切り欠き部に排紙ユニットをはめ込み、フックが固定するように両側を上からゆっくり押さえます。

5 **プリンタカバーを取り付けます。**
プリンタカバー両端をプリンタ左右の穴に差し込んで、ゆっくりと倒し、しっかり閉じます。

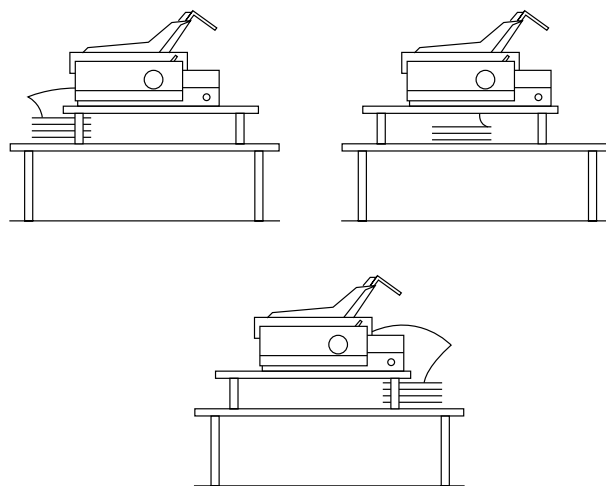
> **!注意**
> - 排紙ユニットは、必ず取り付けた状態で使用してください。排紙ユニットが取り付けられていない状態で印刷すると印字品質が悪くなります。プルトラクタを取り付ける場合のみ、排紙ユニットを取り外します。
> - 排紙ユニットを取り付けるときに、アジャストレバーの位置を変更してしまう場合があります。設定を変えてしまった場合は、正しい位置に戻してください。
>   ☞ 本書 32 ページ 「アジャストレバーの設定」
> - プリンタカバーが開いていたり、浮いていると、ブザーが鳴り安全装置が働いて印刷ができません。

連続紙の給紙と排紙

> **!注意**
> 印刷開始位置がずれたりプリンタ内に用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となりますので、プリンタの電源を入れたまま、用紙を引き抜かないでください。

連続紙はリアプッシュトラクタ、フロントプッシュトラクタ、プルトラクタ、あるいはプッシュ / プルトラクタから給紙します。

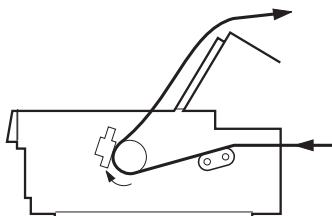
スムーズに給紙するために、以下のような配置でプリンタをお使いください。

プリンタの底部から給紙する場合は、プリンタスタンドを使って給紙を妨げないようにしてください。

> **!注意**
> プリンタケーブルやプリンタ台の角、用紙の箱に連続紙が接触していると紙送りの負荷となり、印刷位置がずれる場合があります。スムーズに給紙できるように連続紙を配置してください。また、連続紙は必ず箱から取り出して置いてください。

> **参考**
> 連続ラベル紙はフロントプッシュトラクタまたはプルトラクタ（フロント / ボトム）から給紙します。

給紙

リアプッシュトラクタ

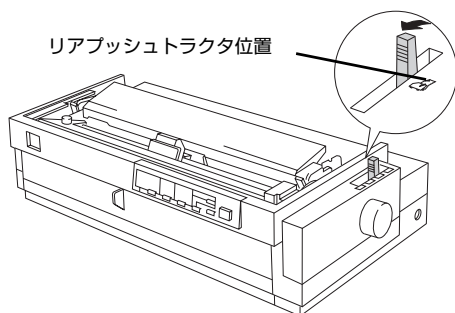
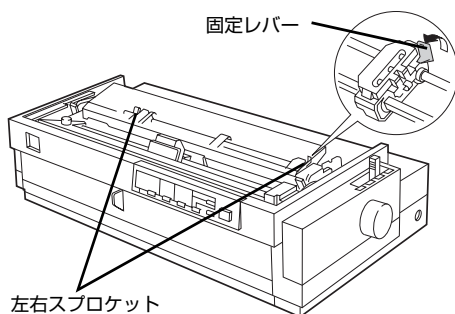
リアプッシュトラクタを使用して、プリンタの後方から給紙します。

1 **プリンタの電源が切れていることを確認します。**

電源が切れているときは、操作パネルのランプが消えています。

2 **プリンタカバーと用紙ガイド（上）を取り外します。**

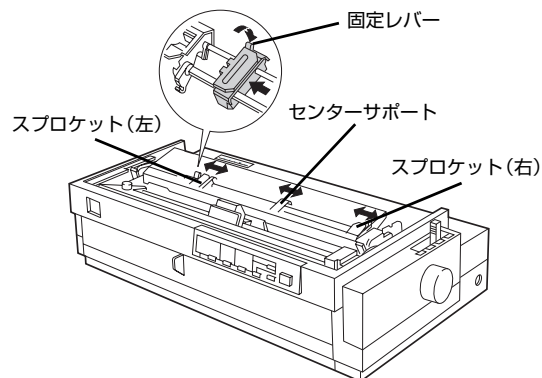
> ⚠注意
>
> プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、しばらく触らないでください。

> **!注意**
>
> プリンタの電源を入れたままプリントヘッドを手で動かさないでください。プリンタが損傷を受ける場合があります。

3 **レリースレバーをリアプッシュトラクタ（ ）位置に設定します。**

4 **左右のスプロケットの固定レバーを上げて、ロックを解除します。**

5 **左側のスプロケットの位置を調整します。**

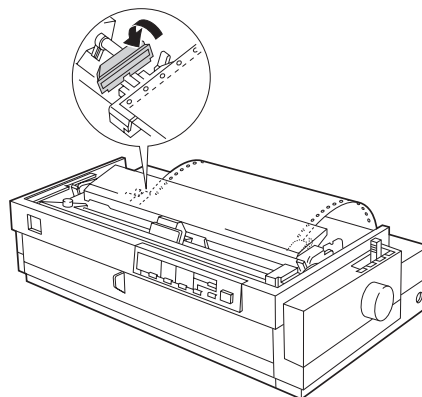
- 左側のスプロケットはプリンタに刻印されている目盛りに合わせ、固定レバーを押し下げてロックします。
- 右側のスプロケットは用紙の幅に合わせますが、まだロックしません。
- センサーサポートは用紙の中央になるように移動します。

> **参考**
>
> 目盛りの「0」は印字開始位置を示します。
> ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンとが異なっている場合は以下を確認してください。
> ① 用紙のセット位置を確認します。
> 1 桁目の印字開始位置を「0」に合わせてください。
> ② ソフトウェアのマージン（余白）設定を確認します。
> それでもマージンが異なる場合は、スプロケットの位置を再調整してください。

6 **用紙をスプロケットにセットします。**

- 左右のスプロケットカバーを開けます。
- 印刷する面を下にして用紙をセットします。
- 用紙両端の穴をスプロケットのピンに合わせます。
- 左側のスプロケットのカバーを閉じてから、右側のスプロケットを移動して用紙のたるみを取り除きます。
- 右側のスプロケットカバーを閉じます。
- 右側のスプロケットの固定レバーを押し下げてロックします。

⚠注意

スプロケットカバーを閉じるときに指が挟まれないよう注意してください。

!注意

用紙がまっすぐスムーズに給紙されるように次の確認をしてください。

- スプロケットのピン位置と用紙の穴の位置が左右両側で合っていること
- 用紙の端や穴の部分が折れたりよれていないこと
- ミシン目が切れかかっていないこと
- 用紙がたるんでいたり、張り過ぎていないこと

7 用紙ガイド（上）とプリンタカバーを取り付けます。

プリンタカバーをしっかり閉じます。

!注意

プリンタカバーが開いていたり、浮いていると、ブザーが鳴り安全装置が働いて印刷ができません。

8 プリンタカバーを開けて、アジャストレバーを設定し、プリンタカバーを閉じます。

☞ 本書 32 ページ 「アジャストレバーの設定」

9 用紙ガイド（上）カバーを開けて用紙ガイド（上）の左右のエッジガイドを中央の位置に移動し、用紙ガイド（上）カバーを閉じます。

用紙ガイド（用紙セパレータ付き）は排紙される連続紙がプリンタに引き込まれるのを防止します。

10 プリンタの電源を入れます。

［印刷可］ランプが点灯します。印刷データを受信すると用紙は自動給紙されて、印刷します。

!注意

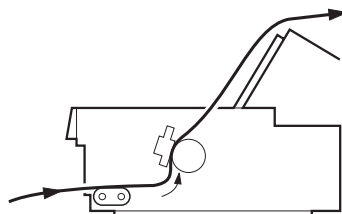
- 連続紙が給紙されない場合は、レリースレバーの位置を確認して連続紙をセットし直してください。
  ☞ 本書 31 ページ 「レリースレバーの設定」
- 用紙が斜めに給紙された場合は、プリンタの電源を切ってから紙送りノブを回して用紙を取り除き、用紙をセットし直してください。
- プリンタの電源が入っているときは、紙送りノブを回さないでください。
- 印刷中にプリンタカバーを開けないでください。プリンタカバーを開けると、安全のために印刷が中断します。印刷を再開するには、プリンタカバーを閉じ［印刷可］スイッチを押して［印刷可］ランプを点灯させてください。

［印刷可］ランプが消えている場合は、［印刷可］スイッチを押して［印刷可］ランプを点灯させてください。

参考

- 印刷する前に、以下を設定してください。
  - プリンタドライバ経由で印刷する場合は、連続紙の用紙サイズを設定してください。
    ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「Windows からの印刷」－「プリンタドライバの設定」
  - DOS 環境で印刷する場合は、連続紙のページ長とミシン目スキップを設定してください。
    ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタ設定値の変更」－「操作パネルからの設定」
- DOS 環境で印刷している場合は、給紙位置を「微小送り機能」で微調整できます。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙位置の微調整（微小送り）」

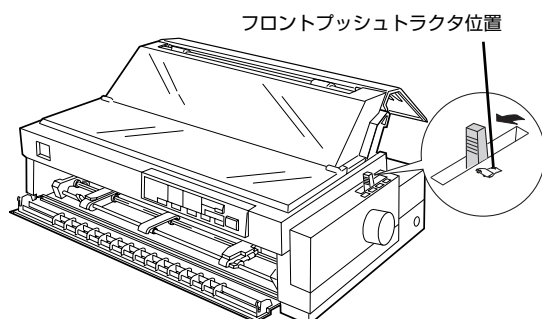
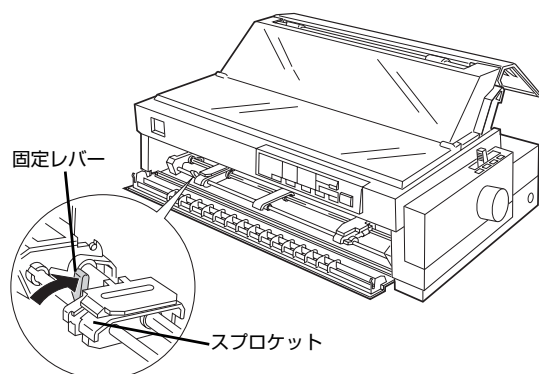
フロントプッシュトラクタ

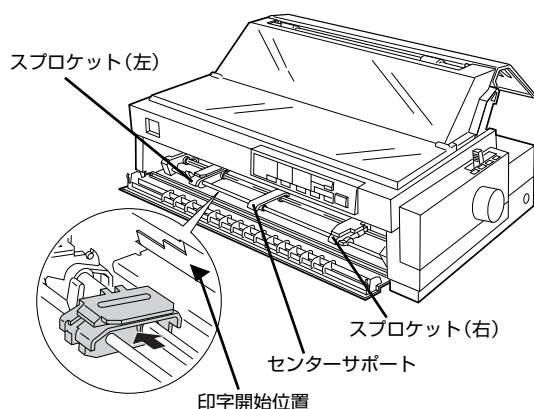
フロントプッシュトラクタを使用して、プリンタの前方から給紙します。

1 プリンタの電源が切れていることを確認します。

電源が切れているときは、操作パネルのランプが消えています。

2 フロントプッシュトラクタを取り付けます。

☞ 本書 33 ページ「フロントプッシュトラクタ位置への取り付け」

3 レリースレバーをフロントプッシュトラクタ（）位置に設定します。

4 左右のスプロケットの固定レバーを上げて、ロックを解除します。

5 左側のスプロケットの位置を調整します。

- 左側のスプロケットはプリンタ本体の印字開始位置（▼）を目安にマージン（余白部分）を調整して、固定レバーを押し下げてロックします。
- 右側のスプロケットは用紙の幅に合わせますが、まだロックしません。
- センサーサポートは用紙の中央になるように移動します。

左側の▼印は印字開始位置を示します。
ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンとが異なっている場合は以下を確認してください。

① 用紙のセット位置を確認します。
  1 桁目の印字開始位置を「▼」に合わせてください。
② ソフトウェアのマージン（余白）設定を確認します。

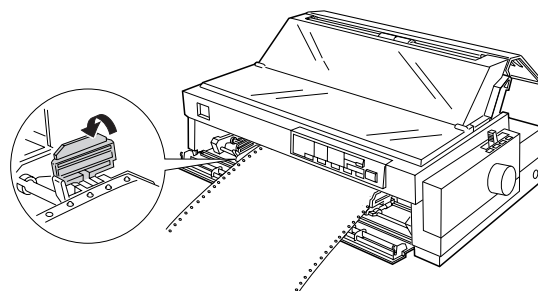
それでもマージンが異なる場合は、スプロケットの位置を再調整してください。

6 用紙をスプロケットにセットします。

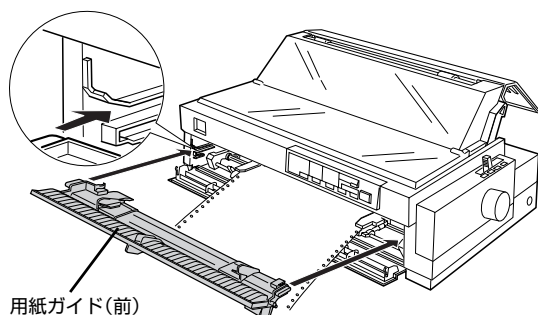
- 左右のスプロケットカバーを開けます。
- 印刷する面を上にして用紙をセットします。
- 用紙両端の穴をスプロケットのピンに合わせます。
- 左側のスプロケットのカバーを閉じてから、右側のスプロケットを移動して用紙のたるみを取り除きます。
- 右側のスプロケットカバーを閉じます。
- 右側のスプロケットの固定レバーを押し下げてロックします。

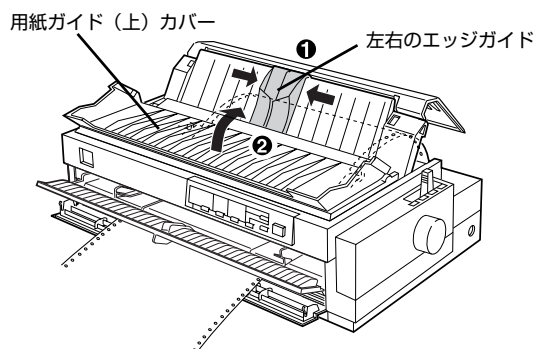
⚠注意

スプロケットカバーを閉じるときに指が挟まれないよう注意してください。

! 注意

用紙がまっすぐスムーズに給紙されるように次の確認をしてください。

- スプロケットのピン位置と用紙の穴の位置が左右両側で合っていること
- 用紙の端や穴の部分が折れたりよれていないこと
- ミシン目が切れかかっていないこと
- 用紙がたるんでいたり、張り過ぎていないこと

7 用紙ガイド（前）を取り付けます。

8 用紙ガイド（上）カバーを開けて用紙ガイド（上）の左右のエッジガイドを中央の位置に移動し、用紙ガイド（上）カバーを閉じます。

用紙ガイド（用紙セパレータ付き）は排紙される連続紙がプリンタに引き込まれるのを防止します。

9 プリンタの電源を入れます。

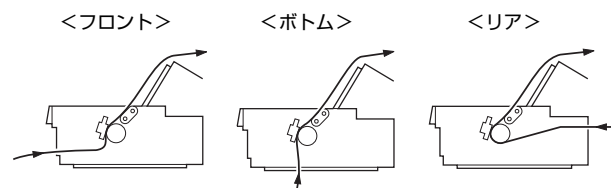
［印刷可］ランプが点灯します。印刷データを受信すると用紙は自動給紙されて、印刷します。

！注意

- 連続紙が給紙されない場合は、レリースレバーの位置を確認して連続紙をセットし直してください。
  ☞ 本書 31 ページ 「レリースレバーの設定」
- 用紙が斜めに給紙された場合は、プリンタの電源を切ってから紙送りノブを回して用紙を取り除き、用紙をセットし直してください。
- プリンタの電源が入っているときは、紙送りノブを回さないでください。
- 印刷中にプリンタカバーを開けないでください。プリンタカバーを開けると、安全のために印刷が中断します。印刷を再開するには、プリンタカバーを閉じ［印刷可］スイッチを押して［印刷可］ランプを点灯させてください。

［印刷可］ランプが消えている場合は、［印刷可］スイッチを押して［印刷可］ランプを点灯させてください。

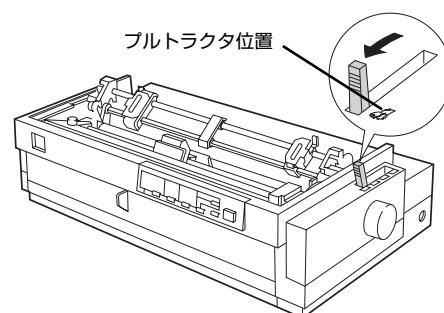
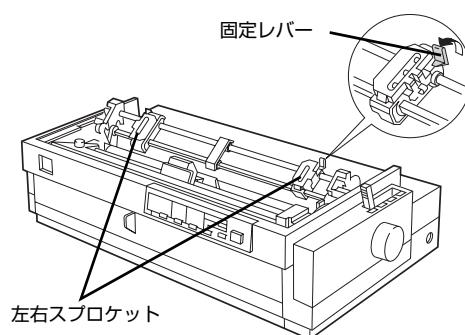
プルトラクタ

プルトラクタを使用して、プリンタの前方、後方、底面から給紙します。

1 プリンタの電源が切れていることを確認します。

電源が切れているときは、操作パネルのランプが消えています。

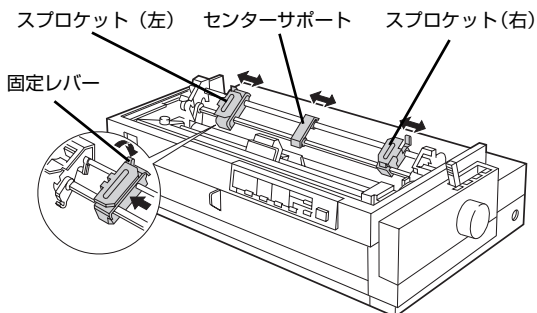
2 プルトラクタを取り付けます。

☞ 本書 33 ページ 「プルトラクタ位置への取り付け」

3 レリースレバーをプルトラクタ（）位置に設定します。

4 左右のスプロケットの固定レバーを上げて、ロックを解除します。

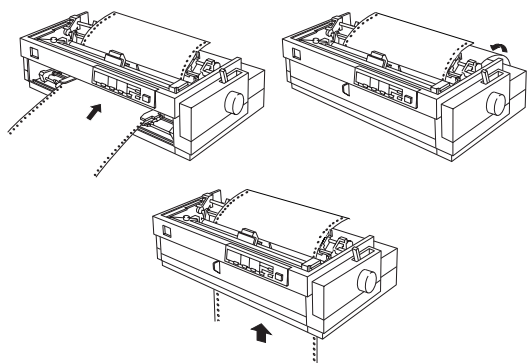
5 左側のスプロケットの位置を調整します。

- 左側のスプロケットはプリンタに刻印されている目盛りに合わせ、固定レバーを押し下げてロックします。
- 右側のスプロケットは用紙の幅に合わせますが、まだロックしません。
- センサーサポートは用紙の中央になるように移動します。

参考

目盛りの「0」は印字開始位置を示します。
ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンとが異なっている場合は以下を確認してください。
① 用紙のセット位置を確認します。
1 桁目の印字開始位置を「0」に合わせてください。
② ソフトウェアのマージン（余白）設定を確認します。
それでもマージンが異なる場合は、スプロケットの位置を再調整してください。

6 用紙をプリンタの前面、後面、または底部から給紙します。

- 左右のスプロケットカバーを開けます。
- 用紙を前面、後面、または底部の給紙口に差し込みます。
- 紙送りノブを回して用紙をプルトラクタの位置まで送ります。
- 用紙両端の穴をスプロケットのピンにはめます。
- 左右のスプロケットカバーを閉じます。

参考

用紙が差し込みにくい場合は、レリースレバーを単票給紙（ ）位置に設定してみてください。用紙をセットしたら、プルトラクタ（ ）位置に戻してください。

! 注意

用紙がまっすぐスムーズに給紙されるように次の確認をしてください。

- スプロケットのピン位置と用紙の穴の位置が左右両側で合っていること
- 用紙の端や穴の部分が折れたりよれていないこと
- ミシン目が切れかかっていないこと
- 用紙がたるんでいたり、張り過ぎていないこと

7 右側のスプロケットの位置を調整します。

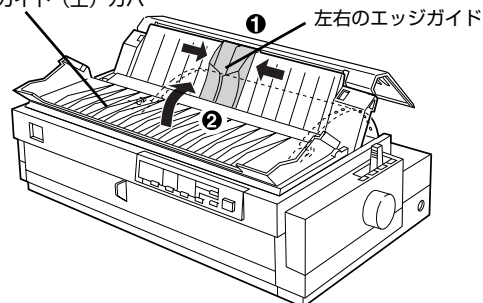
右側のスプロケットを動かして用紙のたるみを取り除き、固定レバーを押し下げてロックします。

8 用紙ガイド（上）とプリンタカバーを取り付けます。

プリンタカバーをしっかり閉じます。

! 注意

プリンタカバーが開いていたり、浮いていると、ブザーが鳴り安全装置が働いて印刷ができません。

9 用紙ガイド（上）カバーを開けて用紙ガイド（上）の左右のエッジガイドを用紙幅の中央の位置に移動し、用紙ガイド（上）カバーを閉じます。

用紙ガイド（用紙セパレータ付き）は排紙される連続紙がプリンタに引き込まれるのを防止します。

10 プリンタの電源を入れます。

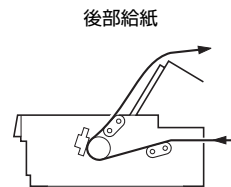
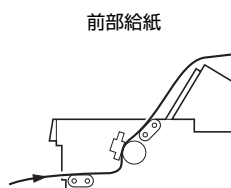
［印刷可］ランプが点灯します。印刷データを受信すると用紙は自動給紙されて、印刷します。

> **!注意**
>
> - 連続紙が給紙されない場合は、レリースレバーの位置を確認して連続紙をセットし直してください。
>   ☞ 本書 31 ページ 「レリースレバーの設定」
> - 用紙が斜めに給紙された場合は、プリンタの電源を切ってから紙送りノブを回して用紙を取り除き、用紙をセットし直してください。
> - プリンタの電源が入っているときは、紙送りノブを回さないでください。
> - 印刷中にプリンタカバーを開けないでください。プリンタカバーを開けると、安全のために印刷が中断します。印刷を再開するには、プリンタカバーを閉じ［印刷可］スイッチを押して［印刷可］ランプを点灯させてください。
> - 印刷終了後に用紙を切り離すときは、［改行 / 改ページ］スイッチを押してください。ティアオフ機能を使用するとプルトラクタから用紙が外れ、紙詰まりを起こす場合があります。自動ティアオフは［OFF（購入時の初期設定）］にして使用してください。
>   ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタ設定値の変更」－「操作パネルからの変更」

［印刷可］ランプが消えている場合は、［印刷可］スイッチを押して［印刷可］ランプを点灯させてください。

プッシュ/ プルトラクタ

プッシュ / プルトラクタを使用すると“前部”と“後部”から給紙できます。

“後部給紙”の場合は、フロントプッシュトラクタを外してプリンタ上部に取り付けます。

“前部給紙”の場合は、オプションのプルトラクタをプリンタ上部に取り付けます。

1 **プリンタの電源が切れていることを確認します。**

電源が切れているときは、操作パネルのランプが消えています。

2 **プッシュ / プルトラクタを取り付けます。**

後部給紙の場合
リアプッシュトラクタは、そのまま利用します。
フロントプッシュトラクタを外してプルトラクタ位置に取り付けます。
☞ 本書 32 ページ「トラクタユニットの付け替え」

前部給紙の場合
フロントプッシュトラクタは、そのまま利用します。
オプションのプルトラクタをプリンタ上部に取り付けます。
☞ 本書 32 ページ「トラクタユニットの付け替え」

3 **レリースレバーを設定します。**

後部給紙の場合
リアプッシュトラクタ（ ）位置に設定します。

前部給紙の場合
フロントプッシュトラクタ（ ）位置に設定します。

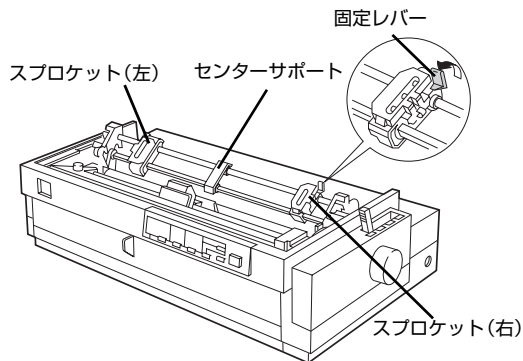
4 **用紙をリアプッシュトラクタまたはフロントプッシュトラクタにセットします。**

用紙のセット方法は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 35 ページ 「リアプッシュトラクタ」
☞ 本書 36 ページ 「フロントプッシュトラクタ」

5 **プリンタの電源を入れ、[改行/改ページ]スイッチを押します。**

用紙をプルトラクタの位置まで送ります。

6 **左右のスプロケットの固定レバーを上げて、ロックを解除し、左側のスプロケットの位置を調整します。**

- 左側のスプロケットを用紙の左端に合わせ、固定レバーを押し下げてロックします。
- 右側のスプロケットは用紙の幅に合わせますが、まだロックしません。
- センサーサポートは用紙の中央になるように移動します。

参考

左側の▼印は印字開始位置を示します。
ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンとが異なっている場合は以下を確認してください。
① 用紙のセット位置を確認します。
1 桁目の印字開始位置を「▼」に合わせてください。
② ソフトウェアのマージン（余白）設定を確認します。
それでもマージンが異なる場合は、スプロケットの位置を再調整してください。

7 **左右のスプロケットカバーを開け、用紙両端の穴をスプロケットのピンに合わせてから、左右のスプロケットカバーを閉じます。**

⚠注意

スプロケットカバーを閉じるときに指が挟まれないよう注意してください。

！注意

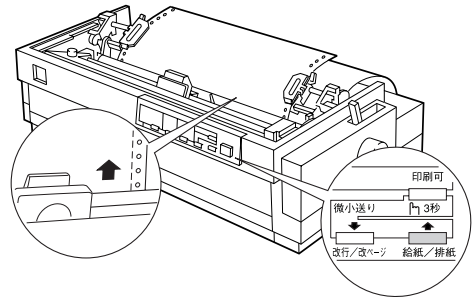
用紙がまっすぐスムーズに給紙されるように次の確認をしてください。

- スプロケットのピン位置と用紙の穴の位置が左右両側で合っていること
- 用紙の端や穴の部分が折れたりよれていないこと
- ミシン目が切れかかっていないこと
- 用紙がたるんでいたり、張り過ぎていないこと

8 **右側のスプロケットの位置を調整します。**

右側のスプロケットを動かして用紙のたるみを取り除き、固定レバーを押し下げてロックします。

9 **レリースレバーをプルトラクタ（）位置に設定し、微小送り機能を使用して用紙を送り、たるみを取り除きます。**

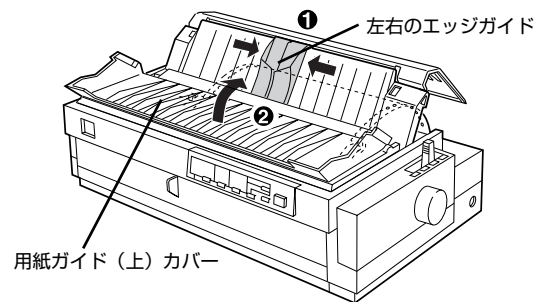
『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙位置の微調整（微小送り）」

10 **用紙ガイド（上）とプリンタカバーを取り付けます。**

プリンタカバーをしっかり閉じます。

！注意

プリンタカバーが開いていたり、浮いていると、ブザーが鳴り安全装置が働いて印刷ができません。

11 **用紙ガイド（上）カバーを開けて用紙ガイド（上）の左右のエッジガイドを中央の位置に移動し、用紙ガイド（上）カバーを閉じます。**

用紙ガイド（用紙セパレータ付き）は排紙される連続紙がプリンタに引き込まれるのを防止します。

12 **レリースレバーを設定します。**

後部給紙の場合
リアプッシュトラクタ（）位置に設定します。

前部給紙の場合
フロントプッシュトラクタ（）位置に設定します。

13 **[改行 / 改ページ] スイッチを押して、給紙位置を合わせます。**

ソフトウェアから印刷を実行すると印刷を開始します。

！注 意

- 連続紙が給紙されない場合は、レリースレバーの位置を確認して連続紙をセットし直してください。
  ☞ 本書 31 ページ 「レリースレバーの設定」
- 用紙が斜めに給紙された場合は、プリンタの電源を切ってから紙送りノブを回して用紙を取り除き、用紙をセットし直してください。
- プリンタの電源が入っているときは、紙送りノブを回さないでください。
- 印刷中にプリンタカバーを開けないでください。プリンタカバーを開けると、安全のために印刷が中断します。印刷を再開するには、プリンタカバーを閉じ［印刷可］スイッチを押して［印刷可］ランプを点灯させてください。
- 印刷終了後に用紙を切り離すときは、［改行 / 改ページ］スイッチを押してください。ティアオフ機能を使用するとプルトラクタから用紙が外れ、紙詰まりを起こす場合があります。自動ティアオフは［OFF（購入時の初期設定）］にして使用してください。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタ設定値の変更」－「操作パネルからの変更」

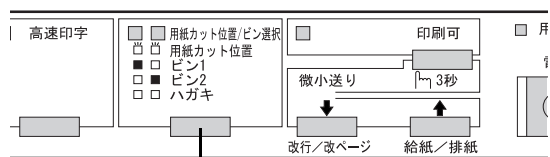
給紙するには［給紙 / 排紙］スイッチを押します。

連続紙の排紙

ラベル紙を除く連続紙は以下の手順で排紙してください。

1　［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチを押して連続紙をミシン目カット位置まで送り出します。

切断するミシン目がプリンタカバーのペーパーカッターとずれているときは、［微小送り▲］スイッチまたは［微小送り▼］スイッチを押してミシン目位置を調整してください。

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙位置の微調整（微小送り）」

［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチ

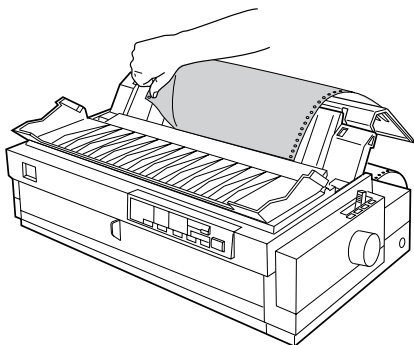
参考

上記の手順は手動ティアオフ機能を使用した場合です。自動ティアオフ機能を使用すると、印刷終了後に連続紙が自動でカット位置まで紙送りされます。
設定方法は PDF マニュアルの以下のページを参照してください。

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「連続紙の切り離し（ティアオフ）」

！注 意

- ラベル紙に印刷するときは、絶対にティアオフ機能を使用しないでください。印刷開始位置へ逆戻りするときに、ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こすことがあります。
- ティアオフ機能はフロントプッシュまたはリアプッシュトラクタを使用する場合に使用します。プルトラクタを使用する場合、ティアオフ機能は使用しないでください。印刷終了後に用紙を切り離すときは、［改行 / 改ページ］スイッチを押してください。ティアオフ機能を使用するとプルトラクタから用紙が外れ、紙詰まりを起こす場合があります。自動ティアオフは［OFF（購入時の初期設定）］のまま使用してください。

2 **ミシン目の位置で連続紙を切り離します。**
ペーパーカッターで連続紙を切り離すことができます。

3 **［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチを押して連続紙を戻します。**

> **参考**
> 電源を切るときは、［給紙 / 排紙］スイッチを押して連続紙をリアプッシュトラクタ位置まで戻してください。連続紙を給紙した状態で電源を切ると、次の印刷時に印字開始位置がずれることがあります。

連続ラベル紙の排紙

印刷の終了したラベル紙を切り離すときは、必ず改ページをして、排紙してください。ティアオフ機能（［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチまたは［給紙 / 排紙］スイッチ）は使用しないでください。

> **！注意**
> ［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチ、［給紙 / 排紙］スイッチを使用するなどして連続ラベル紙を給紙側より引き抜くと、ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こすことがあります。連続ラベル紙は［改行 / 改ページ］スイッチを押して排紙してください。

印刷が終了したら、印刷に使用しないラベル紙を給紙口より手前で切り離し、［改行 / 改ページ］スイッチを押して排紙します。

単票紙の給紙と排紙

> **！注意**
> 印刷開始位置がずれたりプリンタ内に用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となりますので、次の操作は絶対にしないでください。
> - プリンタの電源を入れたまま、紙送りノブを回す。
> - プリンタの電源を入れたまま、用紙を引き抜く。
> - プリンタの電源を切った状態で、紙送りノブを使用して用紙をプリンタ内部に送る。

用紙の表面がなめらかで良質のものを使用してください。

単票紙は、用紙ガイド（前 / 上）からの手差し給紙（1 枚ずつ）と、カットシートフィーダ（オプション）からの連続給紙ができます。カットシートフィーダの取り付け、給紙方法は、PDF マニュアルの以下のページを参照してください。

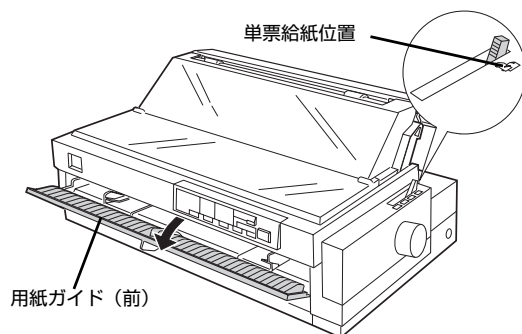
☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「カットシートフィーダ」

> **！注意**
> 用紙ガイド（前）または用紙ガイド（上）にセットできる用紙枚数は単票紙は 1 枚のみ、単票複写紙は 1 部のみです。

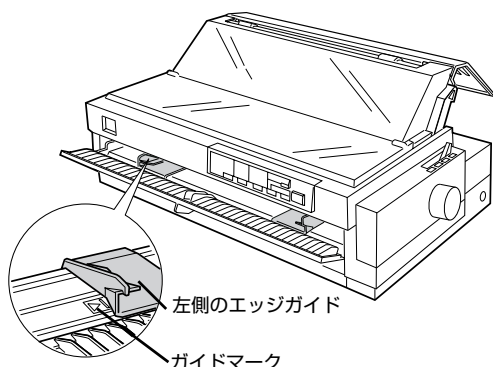
給紙

用紙ガイド(前)からの給紙

1 **プリンタの電源が切れていることを確認します。**
電源が切れているときは、操作パネルのランプが消えています。

2 **レリースレバーを単票給紙（ ）位置に設定し、用紙ガイド（前）を開けます。**

3 **プリンタカバーを開けて、アジャストレバーを設定し、プリンタカバーを閉じます。**
☞ 本書 32 ページ 「アジャストレバーの設定」

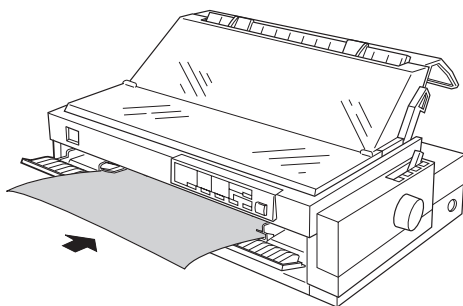
4 **エッジガイドを調整します。**

用紙ガイド（前）の左側のエッジガイドをガイドマーク（▷|）に合わせて、右側のエッジガイドを用紙の幅に合わせます。

参考

- 左エッジガイドの位置によって印刷時の左マージン（余白部分）が決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと印刷結果の左マージンが異なっているときは、エッジガイドの位置を再調整してください。
- A3 横サイズの用紙をセットする場合は、エッジガイドを端まで移動します。

5 **プリンタの電源を入れます。**

6 **用紙をセットします。**

エッジガイドに沿って、用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。自動的に用紙が給紙位置に送られ、プリンタは印刷可能な状態になります。

!注意

- プリンタの電源が入っているときは、紙送りノブを回さないでください。
- 用紙が斜めに給紙された場合は、プリンタの電源を切ってから紙送りノブを回して用紙を取り除き、新しい用紙をセットし直してください。

参考

- DOS 環境で印刷している場合は、給紙位置を「微小送り機能」で微調整できます。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙位置の微調整（微小送り）」
- プリンタドライバ経由で印刷している場合は、給紙位置の調整はできません。お使いのアプリケーション上で余白の設定を行ってください。

7 **［印刷可］ランプが点灯していることを確認し、印刷データを送ります。**

［印刷可］ランプが消えているときは、［印刷可］スイッチを押して点灯させます。

8 **印刷が終了すると自動的に用紙を排紙します。**

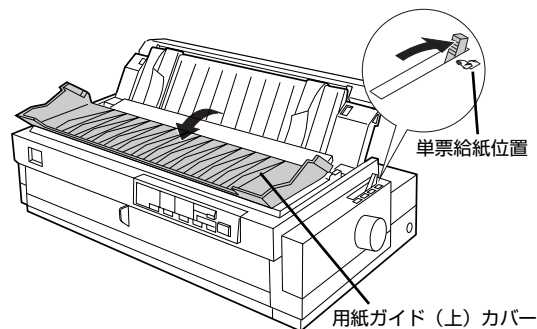
プリンタ内に用紙が残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。

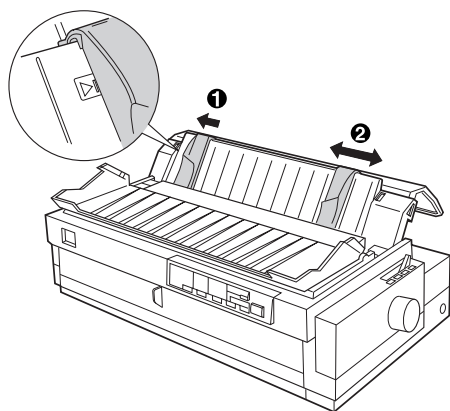
用紙が詰まった場合は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 47 ページ 「用紙が詰まったときは」

用紙ガイド(上)からの給紙

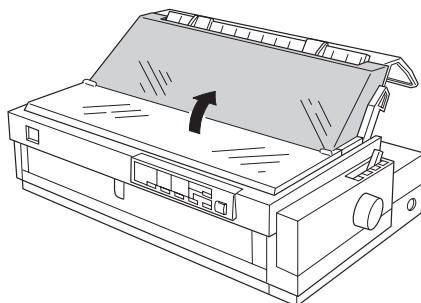
1 **プリンタの電源が切れていることを確認します。**

電源が切れているときは、操作パネルのランプが消えています。

2 **レリースレバーを単票給紙（ ）位置に設定し、用紙ガイド（上）カバーを開けます。**

3 **エッジガイドを調整します。**

用紙ガイド（上）の左側エッジガイドをガイドマーク（▷）に合わせて、右側のエッジガイドを用紙の幅に合わせます。

参考

- エッジガイドの位置によって、印刷時の左マージン（余白部分）が決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと印刷結果の左マージンが異なっているときは、エッジガイドの位置を再調整してください。
- A3 横サイズの用紙をセットする場合は、エッジガイドを端まで移動します。

4 **用紙ガイド（上）カバーを閉じます。**

5 **プリンタの電源を入れます。**

6 **用紙を用紙ガイド（上）にセットします。**

エッジガイドに沿って、用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。

自動的に用紙が給紙位置に送られ、プリンタは印刷可能な状態になります。

!注意

- プリンタの電源が入っているときは、紙送りノブを回さないでください。
- 用紙が斜めに給紙された場合は、プリンタの電源を切ってから紙送りノブを回して用紙を取り除き、新しい用紙をセットし直してください。

参考

- DOS 環境で印刷している場合は、給紙位置を「微小送り機能」で微調整できます。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙位置の微調整（微小送り）」
- プリンタドライバ経由で印刷している場合は、給紙位置の調整はできません。お使いのアプリケーション上で余白の設定を行ってください。

7 **［印刷可］ランプが点灯していることを確認し、印刷データを送ります。**

［印刷可］ランプが消えているときは、［印刷可］スイッチを押して点灯させます。

8 **印刷が終了すると自動的に用紙を排紙します。**

プリンタ内に用紙が残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。

用紙が詰まった場合は、以下のページを参照してください。

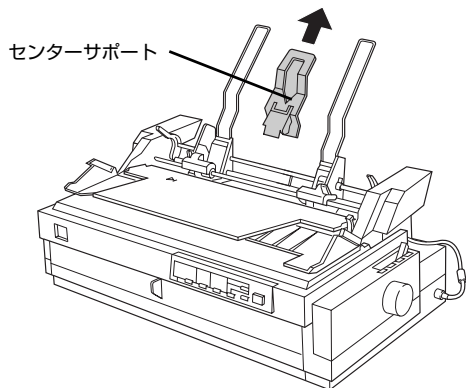
☞ 本書 47 ページ 「用紙が詰まったときは」

ハガキ

ハガキは用紙ガイド（前）、用紙ガイド（上）またはオプションのカットシートフィーダビン1（VP1800CSFA）から給紙します。セット・排紙方法は単票紙と同じです。オプションのカットシートフィーダビン2（VP1800CSFB）からは給紙できません。

本書 43 ページ 「単票紙の給紙と排紙」

参考

- ハガキを印刷する場合は操作パネル上でハガキモードに設定してください。
  ① アジャストレバーを「2」に設定します。
  ②［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチを押し、ハガキモード（［用紙カット位置 / ビン選択］ランプが両方点灯）にします。
  本書 32 ページ 「アジャストレバーの設定」
  本書 11 ページ 「操作パネル」
- ハガキをカットシートフィーダにセットする場合は、センターサポートを取り外し、カットシートフィーダのエッジガイドをハガキの幅に合わせてください。

連続紙と単票紙の切り替え

フロントプッシュトラクタまたはリアプッシュトラクタに連続紙をセットしたまま、連続紙と単票紙を切り替えて給紙することができます。

連続紙から単票紙への切り替え

1 連続紙の印刷が終了したら、［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチを押します。

連続紙を用紙カット位置に送ります。

2 連続紙をミシン目で切り離します。

ペーパーカッターでミシン目を切り離します。

! 注意

- 印刷が終わった連続紙は、ティアオフ機能を使って必ずミシン目で切り離してください。切り離さずに何ページも逆送りすると、紙詰まりを起こします。
- ラベル紙を使用するときは、絶対にティアオフ機能を使用しないください。印刷開始位置へ逆戻りするときに、ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こします。フロントプッシュトラクタの位置で給紙前のラベル紙を切り離し、プリンタ内に残ったラベル紙は［改行 / 改ページ］スイッチで排紙します。

3 ［給紙 / 排紙］スイッチを押します。

連続紙はトラクタの位置まで逆に戻ります。トラクタから外す必要はありません。

! 注意

ラベル紙を使用するときは、［給紙 / 排紙］スイッチを押さないでください。ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こすことがあります。ラベル紙は［改行 / 改ページ］スイッチを押して戻してください。

4 レリースレバーを単票給紙（ ）位置に設定します。

5 連続紙と単票紙で厚さが異なるときは、アジャストレバーを設定し直します。

本書 32 ページ 「アジャストレバーの設定」

6 単票紙を用紙ガイド（前）または（上）にセットします。

エッジガイドを用紙幅に合わせて、単票紙を奥まで差し込みます。

自動的に用紙が給紙位置に送られ、印刷可能な状態になります。

本書 43 ページ 「単票紙の給紙と排紙」

7 ［印刷可］ランプが点灯していることを確認し、印刷を実行します。

［印刷可］ランプが消えているときは、［印刷可］スイッチを押して点灯させます。

単票紙から連続紙への切り替え

1. **単票紙の印刷が終了したら、単票紙を取り除きます。**
   印刷途中の用紙がプリンタ内に残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。

2. **［印刷可］スイッチを押します。**
   ［印刷可］ランプが点灯することを確認します。

3. **レリースレバーをフロントプッシュトラクタ（）またはリアプッシュトラクタ（）位置に設定します。**

4. **連続紙と単票紙で厚さが異なるときは、アジャストレバーを設定し直します。**
   本書 32 ページ「アジャストレバーの設定」

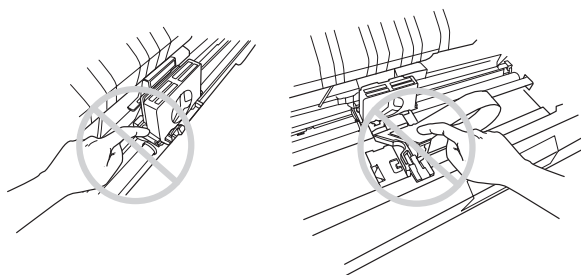
5. **印刷を実行します。**
   印刷データを受信すると、セットされた連続紙を給紙して印刷を開始します。

   ！注 意
   印刷データを送る前にフロントプッシュトラクタまたはリアプッシュトラクタに用紙がセットされていることを確認してください。

用紙が詰まったときは

用紙が詰まったときは、むやみに用紙を引っ張ったりせずに、次の手順で取り除いてください。

⚠注意
プリンタを使用した後は、プリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

！注 意
用紙を取り除くときに、プリンタ内部の白いケーブルに触れないようにしてください。

連続紙が詰まったときは

1. **プリンタの電源を切ります。**

2. **給紙前の連続紙をミシン目で切り離します。**

3. **プリンタカバーを開けます。**

4. **紙送りノブを手でゆっくりと反時計回りに回し、用紙を後退させながら静かに引き抜きます。**
   プリンタ内部に用紙が残ったときは、次のページを参照してください。
   本書 48 ページ「プリンタ内部に用紙が残ったときは」

   ！注 意
   紙送りノブを回すときは、必ず電源を切ってください。

5. **プリンタカバーを閉じます。**

6. **連続紙をセットし直します。**
   本書 34 ページ「連続紙の給紙と排紙」

単票紙が詰まったときは

1 **プリンタの電源を切り、プリンタカバーを開けます。**

2 **紙送りノブを手でゆっくりと時計回りに回し、用紙を前進させながら静かに引き抜きます。**

プリンタ内部に用紙が残ったときは、次のページを参照してください。

☞ 本書 48 ページ「プリンタ内部に用紙が残ったときは」

> **! 注意**
>
> 紙送りノブを回すときは、必ず電源を切ってください。

3 **プリンタカバーを閉じます。**

4 **電源を入れて、単票紙をセットし直します。**

☞ 本書 43 ページ 「単票紙の給紙と排紙」

プリンタ内部に用紙が残ったときは

1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **プリンタカバーと用紙ガイド（上）と排紙ユニットを取り外します。**

3 **用紙を取り除きます。**

> **参考**
>
> 用紙がローラで詰まった場合は、レリースレバーを単票紙位置に設定して紙送りノブを回してください。詰まった用紙が簡単に外れます。レリースレバーは元の位置に戻してください。

4 **排紙ユニットと用紙ガイド（上）とプリンタカバーを取り付けます。**

カットシートフィーダで用紙が詰まったときは

1 **プリンタの電源を切ります。**

カットシートフィーダ内に詰まっている用紙が見えないときは、ステップ 3 へ進みます。

2 **用紙が見えるときは、紙送りノブを反時計回りに回しながら用紙をゆっくり引き抜きます。**

3 **用紙が見えないときは、プリンタカバーを開けてカットシートフィーダを取り外し、用紙を取り除きます。**

4 **カットシートフィーダをプリンタに取り付けてから、用紙をセットし直します。**

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）–「オプションと消耗品」–「カットシートフィーダ」–「取り付け方」

用紙詰まりの予防

用紙詰まりを発生させないように、以下の点に注意してください。

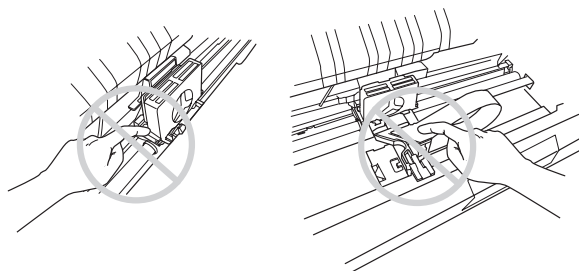
- 使用可能な用紙を使用してください。
  ☞ 本書 30 ページ 「印刷できる用紙」
- 用紙を正しくセットしてください。
  ☞ 本書 34 ページ 「連続紙の給紙と排紙」
  ☞ 本書 43 ページ 「単票紙の給紙と排紙」
  ☞ 本書 46 ページ 「連続紙と単票紙の切り替え」
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）–「オプションと消耗品」–「カットシートフィーダ」–「カットシートフィーダからトラクタへの切り替え」
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）–「オプションと消耗品」–「カットシートフィーダ」–「トラクタからカットシートフィーダへの切り替え」
- 用紙ガイド（前）または用紙ガイド（上）にセットできる用紙枚数は単票紙は 1 枚のみ、単票複写紙は 1 部のみです。
- 用紙をよくさばき、端をそろえてセットしてください。許容枚数を超える用紙をセットしないでください。
- オプションのカットシートフィーダに用紙をセットするときは複数枚の用紙をセットしてください。用紙を 1 枚しかセットしないと正しく給紙されないことがあります。
- 連続ラベル紙を使用する場合は、フロントプッシュトラクタまたはプルトラクタ（フロント / ボトム）から給紙します。
  ☞ 本書 34 ページ 「連続紙の給紙と排紙」
- 連続紙をセットするときはスプロケットの間隔を適切にセットしてください。スプロケットの間隔が広すぎると紙の張りが強く、用紙のピン穴が破れ用紙詰まりの原因になります。スプロケットの間隔が狭すぎて用紙がたるんでいても用紙詰まりの原因となります。セットして長時間経過している連続紙は、印刷前に破れがないことを確認してください。

リボンカートリッジの交換

インクが薄くなって十分な印刷品質を得られなくなったときは、リボンカートリッジを交換してください。

- リボンカートリッジは純正品（型番：VP1800RC）のご使用をお勧めします。
- リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因になりますので、ていねいに扱ってください。
- リボンパック（型番：VP1800RP）は、リボンカートリッジ（型番：VP1800RC）内部のリボンだけを交換するものです。1つのカートリッジにつき4回までリボン交換ができます。
- インクリボンを交換するときにインクが手に付着することがあります。手を汚さないように、リボンパック付属の手袋をして交換してください。

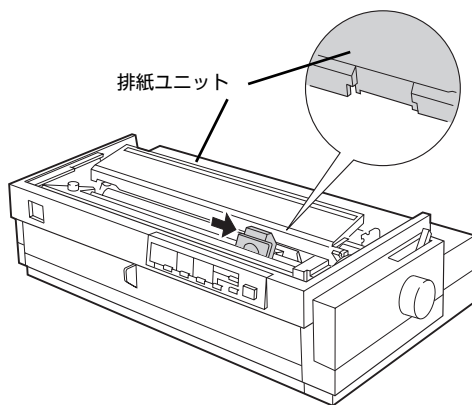
!注意

- プリンタの電源を入れた状態で以下の手順を行うと故障の原因になりますので、必ず電源を切った状態で行ってください。
- リボンカートリッジ交換時は、プリンタ内部の白いケーブルに触れないでください。

以下の手順でリボンカートリッジを交換します。

1 プリントヘッドがリボン取り付け位置にあることを確認します。

プリントヘッドが端にあるときは、プリンタカバーを閉じてから電源を入れてください。プリントヘッドが自動的にリボン取り付け位置に移動します。

リボン取り付け位置は排紙ユニット右側の少しへこんだ部分です。

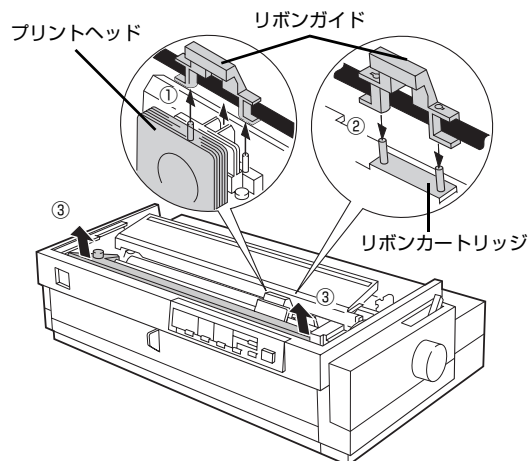
!注意

電源の切/入は、5秒程度待ってから行ってください。切/入の間隔が短すぎるとプリンタの電源部が故障するおそれがあります。

2 プリンタの電源を切ります。

⚠注意

プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

3 プリンタカバーを開け、リボンカートリッジを取り外します。

リボンガイドをプリントヘッドから外し（①）、リボンカートリッジのピンに差し込んでから（②）、リボンカートリッジを両手で手前に引くようにして取り外します（③）。

4 新しいリボンカートリッジを用意します。

5 **リボンカートリッジを取り付けます。**

リボンカートリッジの取り付けについて詳しくは、以下のページを参照してください。

☞ 本書 18 ページ 「3. リボンカートリッジの取り付け」

使用済みのリボンカートリッジは、ポリ袋などに入れてリサイクルに出すか、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。
また弊社では、環境保全活動の一環として、「使用済みカートリッジ回収ポスト」を全国のパソコンショップに設置し、使用済みカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みカートリッジは、ぜひ最寄りの回収拠点までお持ちいただき、回収ポストに投函してくださいますようご協力をお願いいたします。
回収ポストの設置店は、以下のホームページ上で確認できます。
http://www.epson.jp/

以上で終了です。

さらに詳しい情報とサービスのご案内

ここでは、本製品に同梱の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM に収録されている『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）の紹介と使い方、弊社が提供しておりますサービス・サポートの概要を説明します。

PDF マニュアルの紹介と使い方

『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）には、本書に掲載されていない以下のような情報が説明されています。

- Windows から印刷する際の設定方法
- プリンタを共有するための設定方法
- 連続紙、複写紙の詳細な用紙仕様
- オプション品や消耗品の情報（取り付け方や使い方）
- 困ったときの対処方法
- プリンタ本体の仕様

PDF マニュアルを開くには Adobe® Reader® などの PDF 閲覧ソフトウェアが必要です。Adobe Reader は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードできます。また、各 OS に対応する Adobe Reader のバージョンは、アドビシステムズ社のホームページでご確認ください。

PDF マニュアルは以下の手順で開きます。

1 **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

2 **［電子マニュアルを見る］をクリックします。**

3 **［VP1850UG.pdf］をダブルクリックして開きます。または、ドラッグアンドドロップなどの機能でお好みのフォルダへコピーします。**

各種サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートの概要は以下の通りです。

名称	内容	問い合わせ先 / アクセス先など
エプソンインフォメーションセンター	製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。	☞ 本書裏表紙
エプソンのホームページ	製品に関する最新情報などをインターネットにて提供しています。	
MyEPSON *	エプソンの会員制情報提供サービスです。 「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設してお役に立つ情報や、さまざまなサービスを提供いたします。	
ショールーム	エプソン製品を見て、触れて、操作できます。	
ソフトウェアダウンロードサービス	プリンタドライバなどのソフトウェアは、バージョンアップされることがあります。最新のソフトウェアは、弊社のホームページからダウンロードできます。	☞ エプソンのホームページ
マニュアルダウンロードサービス	製品に添付されている取扱説明書のPDFデータをダウンロードできます。取扱説明書を紛失したときなどにご活用ください。 MS-DOS、Windows 3.1/95/98/Me/NT3.51/NT4.0、Macintoshでの操作方法などを説明した補足説明書のPDFデータは弊社のホームページからダウンロードしてください。	
消耗品 / オプションの購入	エプソン製品の消耗品 / オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソンダイレクトの通信販売をご利用ください（2010年2月現在）。	☞ 本書裏表紙
保守サービス	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくための保守サービスをご用意しております。	☞ 次項「保守サービスのご案内」

*：「MyEPSON」登録済みで、「MyEPSON」IDとパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。
「MyEPSON」への新規登録や機種追加登録は、同梱の『EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM』から簡単に行えます。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず『取扱説明書　詳細編』（PDFマニュアル）の「困ったときは」をよくお読みください。

保証書について

保証期間中に、万一故障したときには、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後6年間です。

※改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約や、エプソンサービスパックをお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター（本書裏表紙参照）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターへお問い合わせください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。

種類		概要	修理代金		お問い合わせ先
			保証期間内	保証期間外	
年間保守契約	出張保守	• 製品が故障した場合、最優先でサービスエンジニアが製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 • 修理のつど発生する修理代·部品代 * が無償になるため予算化ができ便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 *：消耗品（リボン、用紙等）は保守対象外となります。	年間一定の保守料金		エプソン サービスコール センター
	持込保守	• 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理をいたします。 • 修理のつど発生する修理代·部品代 * が無償になるため予算化ができ便利です。 • 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。 *：消耗品（リボン、用紙等）は保守対象外となります。	年間一定の保守料金		
スポット出張修理		• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所にサービスエンジニアが出向き、現地で修理を行います。 • 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	有償 （出張料のみ）	出張料 ＋ 技術料 ＋部品代 修理完了後そのつどお支払いください	
持込 / 送付修理		修理故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理いたします。	無償	基本料＋技術料 ＋部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください	エプソン 修理センター
ドア to ドアサービス		• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 • 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金 ＋修理代）	ドア to ドア サービス受付電話

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応　：スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単　　　：エプソンサービスパック登録書をFAXするだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化　　：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。
- エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）

刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

著作権について

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

EPSON VP-1850 セットアップと使い方の概要編

●エプソンのホームページ http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

＊ 予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

＊ 修理について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター：0263-86-7660 ・東京修理センター：042-584-8070 ・福岡修理センター：092-622-8922

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話 **050-3155-7150** 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

＊平日の17:30～20:00（弊社指定休日含む）および、土日、祝日の9:00～18:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通航空で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/でご確認ください。

＊年末年始（12/30日～1/3日）の受付は土日、祝日と同様になります。

●エプソンインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8088 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8581へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション 製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

● 消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101）でお買い求めください。（2009年7月現在）

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス（SIDM） 2010. 01